

3 学生データの推移



学生生活調査（日本学生支援機構）

※隔年実施

※2022年度については、日本学生支援機構が集計中

《ポイント》



【設置者別学生生活費の推移】

区分別に国公立大学を比較すると、学生生活費が最も低いのは公立大学である。

【家庭からの給付】

家庭からの給付額については、公立大学が最も低く、家庭の経済事情に合わせて、公立を選択していることがうかがえる。

【設置者別学生生活費の推移 大学学部（昼間部）】（千円）

	2010	2012	2014	2016	2018	2020
国立	1,479	1,564	1,499	1,512	1,523	1,432
公立	1,406	1,472	1,423	1,431	1,435	1,373
私立	1,936	1,977	1,978	2,004	2,034	1,929

【学生生活費】学費＋生活費

学費：授業料その他の学校納付金、修学費、課外活動費及び通学費の合計

生活費：食費、住居・光熱費、保健衛生費、娯楽・嗜好費その他の日常費（通信費を含む。）の合計

国公立大学を比較すると、学生生活費が最も少額なのは、公立大学である。しかし、生活費のみで見ると私立大学が最も少額となっており、収入に対する学費の割合が高いため、生活費を絞っていると推測される。

家庭からの給付については、公立大学が最も少額であることから、家庭への経済的な負担も低いと考えられる。

居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳（大学昼間部）

（単位：円）

(単位:円)																	
区分		自 宅				学 寮				下宿、アパート、その他				平 均			
		国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均
収入	家庭からの給付	589,000	518,400	1,020,400	955,200	659,800	767,600	1,414,100	1,279,300	1,164,800	981,300	1,637,100	1,444,200	927,900	772,000	1,219,100	1,144,700
	奨学金	181,400	252,500	356,800	334,300	444,700	470,400	483,100	476,700	317,400	436,600	464,900	419,500	276,700	357,300	395,800	373,200
	アルバイト	354,000	360,500	415,900	407,200	258,300	220,200	164,400	180,500	320,800	367,000	334,600	333,300	328,800	359,300	375,400	366,500
	定職収入・その他	29,600	28,600	36,100	35,000	77,400	32,200	46,000	50,500	50,000	40,500	60,400	55,700	44,400	35,100	43,500	43,200
	計	1,154,000	1,160,000	1,829,200	1,731,700	1,440,200	1,490,400	2,107,600	1,987,000	1,853,000	1,825,400	2,497,000	2,252,700	1,577,800	1,523,700	2,033,800	1,927,600
支出	授業料	490,000	489,400	1,033,200	954,700	368,900	458,100	992,900	881,400	487,700	486,500	1,073,500	853,100	481,200	486,800	1,041,500	914,900
	その他の 学校納付金	10,300	19,000	151,300	131,300	13,800	48,300	148,500	124,900	8,900	17,500	162,500	105,400	9,700	19,200	154,200	122,000
	修学費	50,100	54,400	45,900	46,700	55,200	48,600	51,100	51,700	47,000	46,500	45,700	46,100	48,600	50,000	46,200	46,800
	課外活動費	20,700	11,000	16,200	16,500	31,300	13,500	39,600	37,600	26,900	13,100	23,300	23,500	25,000	12,200	19,800	20,300
	通学費	61,800	69,000	66,200	65,800	8,400	8,100	13,900	12,900	8,500	12,100	17,700	14,500	27,500	36,800	49,000	44,700
	小計（学費）	632,900	642,800	1,312,800	1,215,000	477,600	576,600	1,246,000	1,108,500	579,000	575,700	1,322,700	1,042,600	592,000	605,000	1,310,700	1,148,700
	食費	80,300	72,600	86,700	85,500	264,000	190,900	230,100	234,400	288,400	265,600	267,400	273,400	212,600	178,800	146,900	160,000
	住居・光熱費	...	...	...	...	227,000	277,400	315,800	300,900	530,400	493,000	483,000	497,700	322,200	270,600	156,200	190,900
	保健衛生費	36,600	41,300	41,400	40,900	36,100	30,300	38,100	37,600	40,200	43,900	43,100	42,300	38,600	42,300	41,700	41,200
	娯楽・嗜好費	113,500	111,300	131,100	128,500	116,300	99,500	116,500	116,100	136,900	137,400	135,700	136,200	127,300	124,800	131,300	130,300
その他の日常費	123,800	125,000	132,800	131,600	153,900	146,600	144,100	145,700	146,900	173,400	162,400	158,800	139,100	151,400	141,800	141,900	
小計（生活費）	354,200	350,200	392,000	386,500	797,300	744,700	844,600	834,700	1,142,800	1,113,300	1,091,600	1,108,400	839,800	767,900	617,900	664,300	
計	987,100	993,000	1,704,800	1,601,500	1,274,900	1,321,300	2,090,600	1,943,200	1,721,800	1,689,000	2,414,300	2,151,000	1,431,800	1,372,900	1,928,600	1,813,000	

出展 日本学生支援機構「令和2年度学生生活調査結果」

《ポイント》

【収入総額に占める内訳の割合の推移】

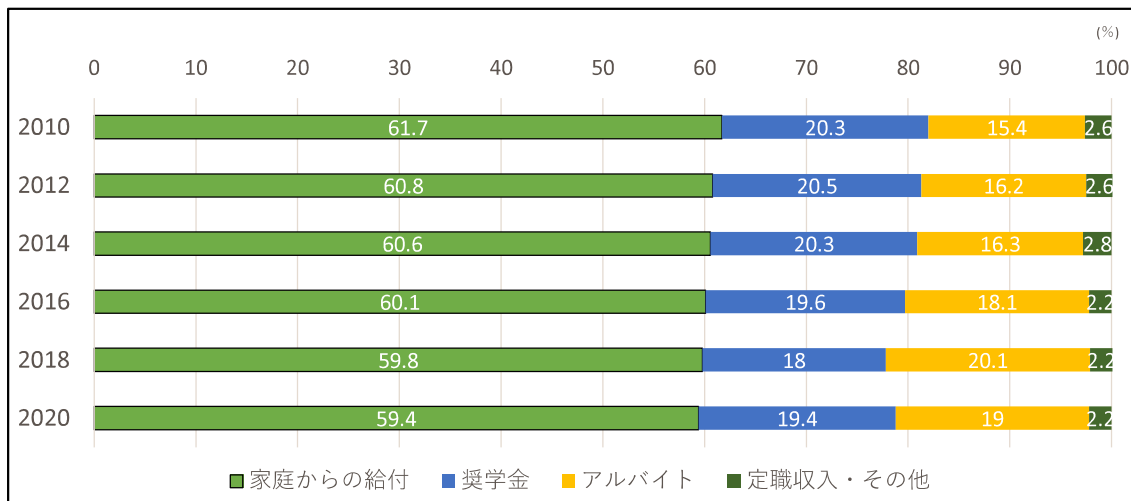
①家庭からの給付が収入総額の約6割を占める。

②家庭からの給付が減少傾向である一方、アルバイト収入は増加傾向である。

【アルバイト従事者割合の比較】

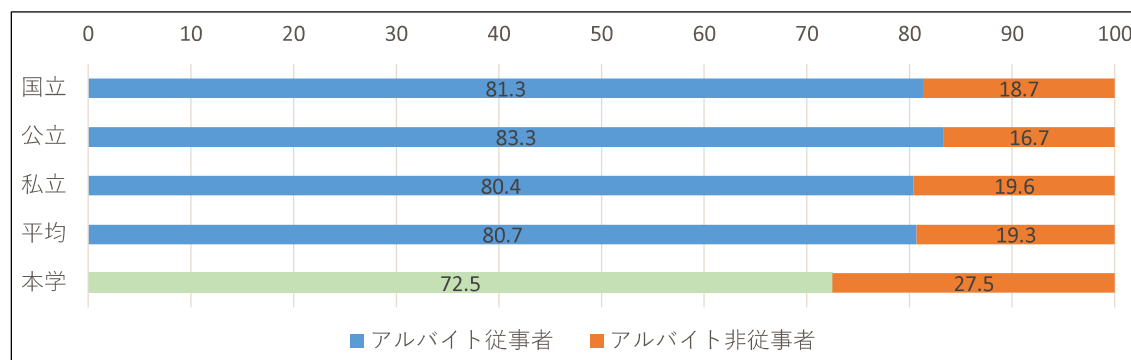
本学のアルバイト従事者の割合は、国公立大学別の平均値より低い数値である。

【収入総額に占める内訳の割合の推移】



【アルバイト従事者の全学生に対する割合】

※国立、公立、私立、平均については2020年度データ ※本学2022年度データ



出展 日本学生支援機構「令和2年度学生生活調査結果」

学生生活費に係る収入総額の家庭からの給付は、年々緩やかに減少している一方、アルバイト収入は、増加傾向にある。このことにより、学生のアルバイト従事者数も増加していると推測される。

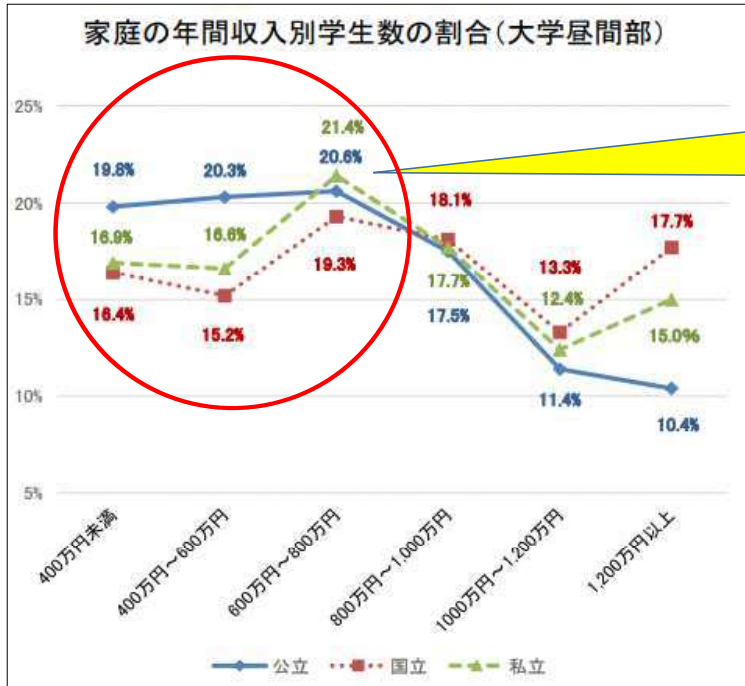


家庭の年間収入別学生数の割合

《ポイント》



家庭の年間収入別学生数の割合を見ると、公立大学の学生は、約6割の家庭が800万円未満の所得区分となっており、公立大学は、地域の勉学意欲のある若者の学びの場として、その役割を果たしている。



《800万円未満の所得割合》

公立大学：60.7%

国立大学：50.9%

私立大学：54.9%

(独) 日本学生支援機構「令和2年度学生生活調査」から作成

区分	公立	国立	私立
400万円未満	19.8%	16.4%	16.9%
400万円～600万円	20.3%	15.2%	16.6%
600万円～800万円	20.6%	19.3%	21.4%
800万円～1,000万円	17.5%	18.1%	17.7%
1,000万円～1,200万円	11.4%	13.3%	12.4%
1,200万円以上	10.4%	17.7%	15.0%

《所得割合が多い区分》

公立大学：400万円～800万円 40.9%

国立大学：600万円～1,000万円 37.4%

私立大学：600万円～1,000万円 39.1%



入試区分別成績状況

《ポイント》

- ①2011年度～2022年度の一般選抜入学者と特別選抜入学者のGPA値を比較すると、合格となる1.00以上の成績者が一般選抜は93%、特別選抜は91%となっている。
- ②2011年度～2022年度の一般選抜入学者と特別選抜入学者のGPAの中央値は、一般選抜が2.23、特別選抜が2.10（0.00を除く数値）で差は0.13である。
- ③入試区分別平均在学年数の推移を見ると、ほとんどの学生が4年間で卒業することができている。

成績評価について（令和5年度学生便覧16ページ）

成績の評価は、100点をもって満点とし、60点（C評価）以上をもって合格とする。

成績は、S・A・B・C・Dの記号をもって表し、その内容は、次の表のとおり

評価	評価の基準	GPA	内容	区分
S	100～90点	4	学修の成果が到達目標を十分に達成できている非常に優れた成績	合格
A	89～80点	3	学修の成果が到達目標を十分に達成できている優れた成績	合格
B	79～70点	2	学修の成果が到達目標を達成できている成績	合格
C	69～60点	1	学修の成果が到達目標を最低限達成できている成績	合格
D	60点未満	0	学修の成果が到達目標を達成できていない成績	不合格

1 2021年度入学者（学科別入試）と2022年度入学者（学群別入試）によるGPA値の比較

2021年度 一般選抜入学者

GPA値	人数	割合
0	0	0%
0.01～0.99	9	4%
1.00～1.99	72	30%
2.00～2.99	143	60%
3.00以上	15	6%

239

2021年度 特別選抜入学者

GPA値	人数	割合
0	0	0%
0.01～0.99	3	7%
1.00～1.99	10	22%
2.00～2.99	29	63%
3.00以上	4	9%

46

2022年度 一般選抜入学者

GPA値	人数	割合
0	0	0%
0.01～0.99	11	5%
1.00～1.99	57	23%
2.00～2.99	161	66%
3.00以上	14	6%

243

2022年度 特別選抜入学者

GPA値	人数	割合
0	0	0%
0.01～0.99	6	10%
1.00～1.99	30	48%
2.00～2.99	27	43%
3.00以上	0	0%

63

特別選抜

学校推薦型選抜

総合型選抜（2022年度）

総合デザインA日程 推薦（2011年度～2018年度）

総合デザインB日程 共通テスト利用（2011年度～2018年度）

総合型選抜A 2021年度のみ 総デ以外

総合型選抜B 2019年～2021年度 総デのみ

2 一般選抜入学者と特別選抜入学者によるGPA値の比較

2011年度～2022年度 一般選抜

GPA値	人数	割合
0	18	1%
0.01～0.99	177	6%
1.00～1.99	835	29%
2.00～2.99	1565	55%
3.00以上	251	9%

2,846

2011年度～2022年度 特別選抜

GPA値	人数	割合
0	7	1%
0.01～0.99	51	8%
1.00～1.99	230	36%
2.00～2.99	325	50%
3.00以上	34	5%

647

3 各中央値

(1) 2011年度～2022年度 一般選抜

中央値

①0.00を含む場合	2.22
②0.00を除く場合	2.23

(3) 2021年度 一般選抜

中央値

①0.00を含む場合	2.23
②0.00を除く場合	2.23

(5) 2022年度 一般選抜

中央値

①0.00を含む場合	2.30
②0.00を除く場合	0.00該当なし

(2) 2011年度～2022年度 特別選抜

中央値

①0.00を含む場合	2.08
②0.00を除く場合	2.10

(4) 2021年度 特別選抜

中央値

①0.00を含む場合	2.29
②0.00を除く場合	0.00該当なし

(6) 2022年度 特別選抜

中央値

①0.00を含む場合	1.80
②0.00を除く場合	0.00該当なし

○入試区分別平均在学年数

区分	入学年度																			
	2010		2011		2012		2013		2014		2015		2016		2017		2018		2019	
	人数	平均年数	人数	平均年数	人数	平均年数	人数	平均年数	人数	平均年数	人数	平均年数	人数	平均年数	人数	平均年数	人数	平均年数	人数	平均年数
一般選抜 後期日程	47	4.04	48	4.13	56	4.16	48	4.08	49	4.06	71	4.13	60	4.17	47	4.06	69	4.10	65	4.00
一般選抜 前期日程	134	4.11	139	4.14	137	4.07	153	4.07	158	4.09	141	4.26	161	4.13	174	4.10	146	4.08	152	4.00
学校推薦型選抜	23	4.09	23	4.22	25	4.12	27	4.07	30	4.03	26	4.15	31	4.03	28	4.11	26	4.08	28	4.00
総合型選抜B																			9	4.00
特別選抜 帰国生															1	4.00				1
特別選抜 私費外国人留学生	3	4.00	4	4.00	6	4.00	7	4.29	1	4.00	4	4.00	2	4.00					2	4.00
特別選抜 社会人					2	4.00	4	4.50	2	4.00									1	4.00
総計	207	4.09	214	4.14	226	4.10	239	4.09	240	4.08	242	4.21	254	4.13	250	4.09	241	4.08	257	4.00



#



1級建築士合格実績

《ポイント》

- ① 1級建築士試験は、大学において指定科目を修めて卒業したことや、2級建築士の資格を有することなどを受験資格とし、学科の試験及び設計製図の試験の両方に合格しなければならない難易度の高い資格試験であり、過去8年間の総合合格率は、平均で11%程度である。
- ② 過去8年間の合格者10人以上を輩出する国公立大学別では、公立大学は、平均で全体の6%を占めるのみである。
- ③ 本学は、例年、一定数の合格者を輩出しており、公立大学における過去8年間の合計の合格者数では、大阪市立大学、東京都立大学に次いで第3位となっている。
- ④ 私立大学は、入学定員が多いことから合格者数も多いが、国立大学の入学定員は公立大学とさほど変わらないにもかかわらず、合格者数が多くなっている。

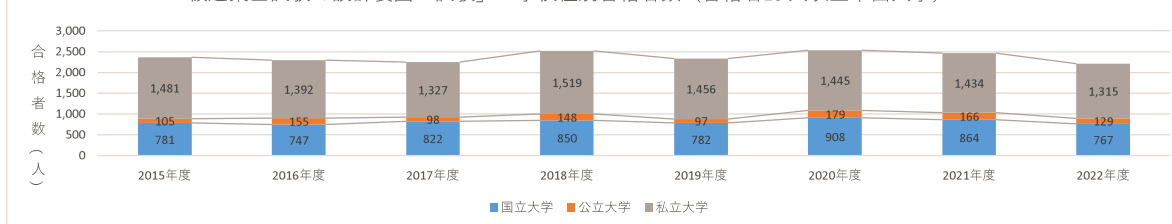
出典：国土交通省 一級建築士試験（報道発表資料等）

過去8年間の試験結果

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
	実受験者数	合格率	実受験者数	合格率	実受験者数	合格率	実受験者数	合格率	実受験者数	合格率	実受験者数	合格率	実受験者数	合格率	実受験者数	合格率
学科	25,804	18.6%	26,093	16.1%	26,923	18.4%	25,878	18.3%	25,132	22.8%	30,409	20.7%	31,696	15.2%	30,007	21.0%
	4,806		4,213		4,946		4,742		5,729		6,295		4,832		6,289	
製図	9,308	40.5%	8,653	42.4%	8,931	37.7%	9,251	41.4%	10,151	35.2%	11,035	34.4%	10,499	35.9%	10,509	33.0%
	3,774		3,673		3,365		3,827		3,571		3,796		3,765		3,473	
総合合格率		12.4%		12.0%		10.8%		12.5%		12.0%		10.6%		9.9%		9.9%

「学科」合格者のみ
「製図」を受験可能

1級建築士試験「設計製図の試験」の学校種別合格者数（合格者10人以上輩出大学）



○過去8年の公立大学の学校別合格者数一覧（10人以上）

学校名	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計	平均	入学定員	平均/入学定員
大阪市立大学	26	25	29	35	29	42	45	33	184	33.0	34	97%
東京都立大学	25	32	27	36	18	32	32	31	149	29.1	50	58%
前橋工科大学	22	26	24	29	11	19	21	18	98	21.3	91	23%
滋賀県立大学	11	16	18	10	15	11	16	14	66	13.9	50	28%
宮城大学	—	12	—	16	—	13	12	11	52	12.8	80	16%
秋田県立大学	—	—	—	10	14	15	—	10	49	12.3	40	31%
北九州市立大学	10	14	—	12	—	17	19	—	48	14.4	50	29%
京都府立大学	11	—	—	—	10	19	10	—	39	12.5	43	29%
名古屋市立大学	—	10	—	—	—	11	11	12	34	11.0	40	28%
熊本県立大学	—	10	—	—	—	—	—	—	10	10.0	40	25%
兵庫県立大学	—	10	—	—	—	—	—	—	10	10.0	40	25%

※「—」は、10人以下で公開なし

※「学歴」を受験資格として申し込んだ者のみの人数であり、「2級建築士」等を受験資格とした者は、当該大学の出身者であっても含まれていない。

○過去8年の国立大学の学校別合格者数上位TOP5一覧（10人以上）

学校名	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計	平均	入学定員	平均/入学定員
千葉大学	35	34	60	66	49	62	68	52	297	53.3	69	77%
神戸大学	51	65	52	70	46	58	54	55	283	56.4	93	61%
九州大学	—	61	44	45	53	67	44	48	257	51.7	58	89%
京都工芸繊維大学	46	44	52	38	48	49	57	46	238	47.5	156	30%
京都大学	47	46	56	47	37	55	56	36	231	47.5	80	59%

※九州大学は、九州芸術工科大学（現在の九州大学芸術工学部の前身）を含む。

○過去8年の私立大学の学校別合格者数上位TOP5一覧（10人以上）

学校名	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計	平均	入学定員	平均/入学定員
日本大学	225	180	181	209	192	162	153	149	865	181.4	858	21%
東京理科大学	132	123	108	117	95	141	128	123	604	120.9	230	53%
芝浦工業大学	78	90	102	100	110	119	96	96	521	98.9	240	41%
早稲田大学	99	81	71	96	88	88	79	79	430	85.1	160	53%
近畿大学	73	69	58	77	66	70	87	74	374	71.8	475	15%

4 参考資料



4年制大学進学率、出生率

《ポイント》

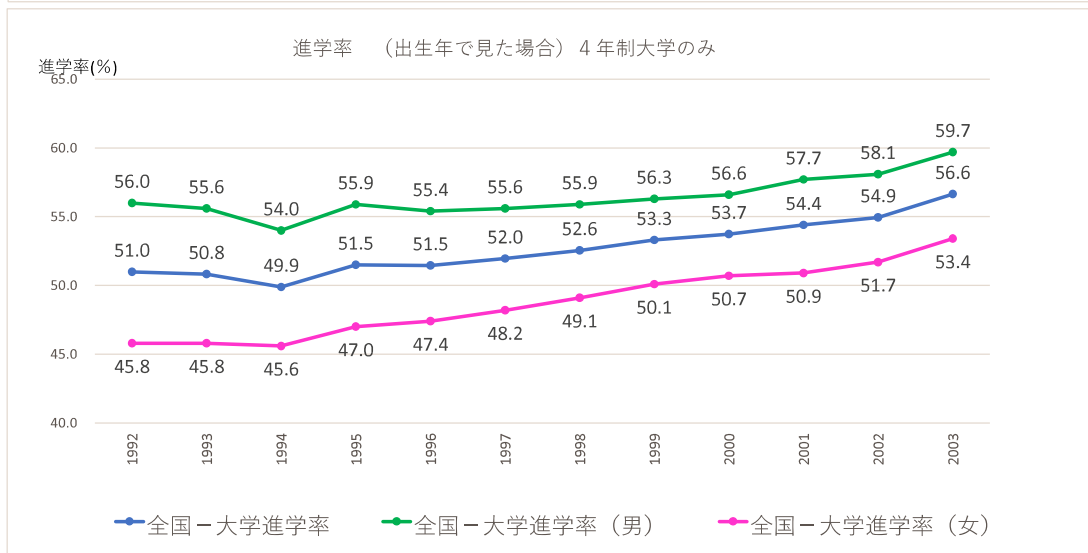
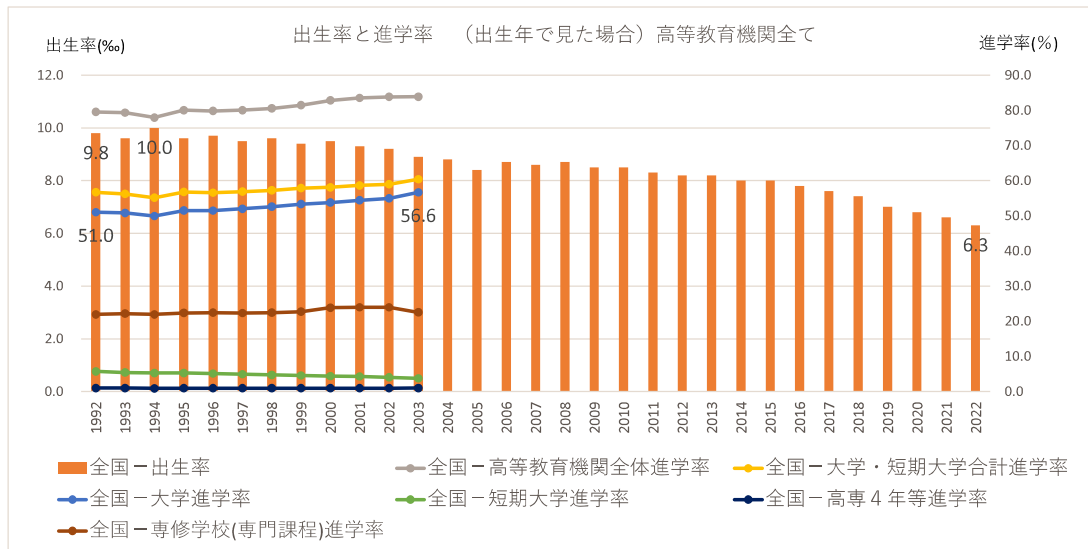


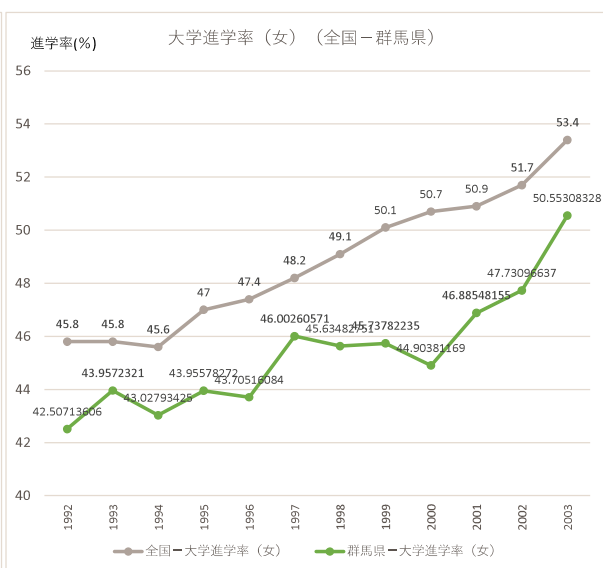
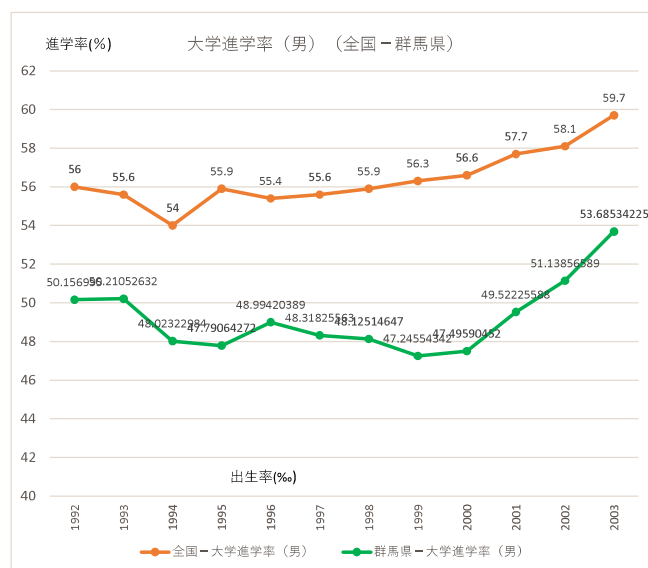
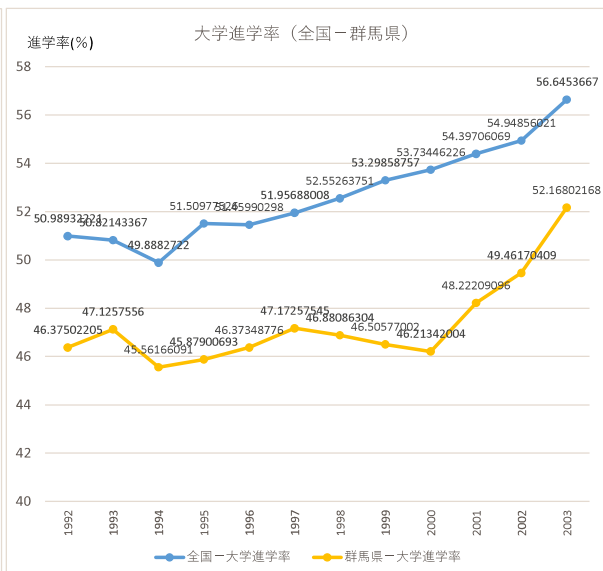
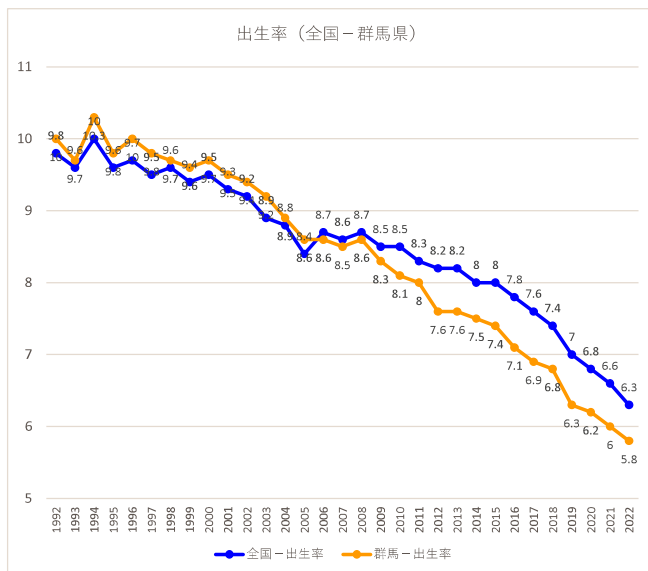
- ①出生率については、多少の増減はあるものの減少傾向にあり、1992年度(9.8%)から2020年度(6.3%)の30年間で、3.5ポイントも減少している。30年間で出生率が一番高かったのは、1994年度で10.0%だった。
- ②全国と群馬県の出生率を比較すると、1995年度までは全国の出生率より高いが、1996年度以降全国の出生率より低く、減少傾向は著しい。
- ③大学進学率(全国)は、1992年度に生まれた人の進学率に比べ、2003年度に生まれた人の進学率は5.6ポイント増加している。群馬県における大学進学率は、47%前後を推移しているが、2000年度に生まれた人から増加傾向にあり、2003年度に生まれた人の進学率では52.2%まで増加している。しかし、全国的に見ると群馬県の進学率は低い状況である。
- ④男女別に見ると、全国の男性の進学率は56%前後を推移し、1996年度に生まれた人から増加傾向にあり、60%に迫っている一方で、群馬県の男性の進学率は1994年度に生まれた人から50%を割っており、2000年度に生まれた人から増加傾向にある。全国の女性の進学率は50%以下であるが、増加傾向にあり、2003年度に生まれた人で53.4%まで増加している。群馬県の女性の進学率は、50%以下を推移し、増減を繰り返しながら、徐々に増加している。男女の大学進学率の差については、1992年時点で10.2%だったが、2003年時点では6.3%と2倍近く縮まっており、女性の進学率が増加していることがうかがえる。
- ⑤女性の進学率の向上は、将来の進路を考えたとき、短大よりも4年制大学のほうが就職に有利という状況が影響していると考えられる。短大への進学は減少傾向にあることから、このことが推測できる。
⇒志願者を増加させるためにも、女性の学生に本学を認識してもらう大学広報や、「女子枠」の創設などの検討が必要となる。

出典：学校基本調査

出生率：1,000人の人口集団の中での発生比率のこと(人口1,000人当たりの率「‰」(パーミル))。

：人口動態調査







都道府県別の在学者状況

《ポイント》

- ① 本学と高知工科大学は、学科等が異なるにもかかわらず、県内出身者の割合が類似している。
- ② 類似の公立大学が存在する県は、県内出身者の在学割合が低くなる傾向がある。

前橋工科大学

	都道府県	学部					
		R3		R4		R5	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
1	北海道	12	0.99%	16	1.30%	17	1.40%
2	青森県	18	1.48%	14	1.14%	15	1.23%
3	岩手県	36	2.97%	34	2.77%	37	3.04%
4	宮城県	15	1.24%	17	1.38%	19	1.56%
5	秋田県	6	0.49%	6	0.49%	7	0.58%
6	山形県	14	1.15%	11	0.90%	10	0.82%
7	福島県	34	2.80%	31	2.52%	26	2.14%
8	茨城県	84	6.92%	84	6.83%	83	6.83%
9	栃木県	85	7.01%	87	7.08%	87	7.15%
10	群馬県	309	25.47%	333	27.10%	318	26.15%
11	埼玉県	104	8.57%	112	9.11%	106	8.72%
12	千葉県	19	1.57%	22	1.79%	22	1.81%
13	東京都	33	2.72%	35	2.85%	33	2.71%
14	神奈川県	18	1.48%	16	1.30%	16	1.32%
15	新潟県	46	3.79%	52	4.23%	50	4.11%
16	富山県	35	2.89%	33	2.69%	37	3.04%
17	石川県	14	1.15%	12	0.98%	13	1.07%
18	福井県	11	0.91%	10	0.81%	10	0.82%
19	山梨県	18	1.48%	14	1.14%	17	1.40%
20	長野県	74	6.10%	82	6.67%	73	6.00%
21	岐阜県	16	1.32%	16	1.30%	17	1.40%
22	静岡県	84	6.92%	78	6.35%	82	6.74%
23	愛知県	30	2.47%	27	2.20%	23	1.89%
24	三重県	10	0.82%	7	0.57%	11	0.90%
25	滋賀県	1	0.08%	1	0.08%	2	0.16%
26	京都府	5	0.41%	5	0.41%	7	0.58%
27	大阪府	6	0.49%	6	0.49%	7	0.58%
28	兵庫県	7	0.58%	9	0.73%	11	0.90%
29	奈良県	0	0.00%	0	0.00%	1	0.08%
30	和歌山県	0	0.00%	0	0.00%	1	0.08%
31	鳥取県	4	0.33%	3	0.24%	2	0.16%
32	島根県	3	0.25%	2	0.16%	2	0.16%
33	岡山県	4	0.33%	3	0.24%	1	0.08%
34	広島県	13	1.07%	12	0.98%	11	0.90%
35	山口県	0	0.00%	2	0.16%	2	0.16%
36	徳島県	3	0.25%	1	0.08%	2	0.16%
37	香川県	2	0.16%	2	0.16%	1	0.08%
38	愛媛県	6	0.49%	6	0.49%	4	0.33%
39	高知県	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
40	福岡県	3	0.25%	5	0.41%	5	0.41%
41	佐賀県	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
42	長崎県	5	0.41%	3	0.24%	4	0.33%
43	熊本県	5	0.41%	6	0.49%	5	0.41%
44	大分県	3	0.25%	3	0.24%	4	0.33%
45	宮崎県	3	0.25%	3	0.24%	3	0.25%
46	鹿児島県	6	0.49%	4	0.33%	6	0.49%
47	沖縄県	3	0.25%	4	0.33%	6	0.49%
99	海外	6	0.49%	0	0.00%	0	0.00%
計		1,213	100.00%	1,229	100.00%	1,216	100.00%

高知工科大学

	都道府県	学部					
		R3		R4		R5	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
1	北海道	9	0.39%	10	0.44%	13	0.56%
2	青森県	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	岩手県	0	0.00%	2	0.09%	2	0.09%
4	宮城県	3	0.13%	4	0.18%	3	0.13%
5	秋田県	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	山形県	2	0.09%	0	0.00%	0	0.00%
7	福島県	1	0.04%	1	0.04%	1	0.04%
8	茨城県	16	0.70%	18	0.79%	15	0.65%
9	栃木県	6	0.26%	7	0.31%	5	0.22%
10	群馬県	2	0.09%	2	0.09%	0	0.00%
11	埼玉県	4	0.17%	5	0.22%	7	0.30%
12	千葉県	6	0.26%	5	0.22%	3	0.13%
13	東京都	15	0.65%	16	0.71%	13	0.56%
14	神奈川県	3	0.13%	5	0.22%	7	0.30%
15	新潟県	1	0.04%	2	0.09%	2	0.09%
16	富山県	2	0.09%	2	0.09%	2	0.09%
17	石川県	10	0.43%	12	0.53%	12	0.52%
18	福井県	6	0.26%	5	0.22%	8	0.35%
19	山梨県	3	0.13%	2	0.09%	6	0.26%
20	長野県	8	0.35%	8	0.35%	7	0.30%
21	岐阜県	23	1.00%	21	0.93%	26	1.13%
22	静岡県	33	1.43%	35	1.54%	36	1.56%
23	愛知県	92	4.00%	93	4.10%	94	4.08%
24	三重県	51	2.22%	51	2.25%	48	2.09%
25	滋賀県	14	0.61%	11	0.48%	9	0.39%
26	京都府	70	3.04%	62	2.73%	57	2.48%
27	大阪府	110	4.78%	99	4.36%	94	4.08%
28	兵庫県	180	7.83%	173	7.62%	172	7.47%
29	奈良県	18	0.78%	20	0.88%	18	0.78%
30	和歌山県	36	1.57%	26	1.15%	29	1.26%
31	鳥取県	21	0.91%	20	0.88%	18	0.78%
32	島根県	33	1.43%	35	1.54%	35	1.52%
33	岡山県	131	5.70%	130	5.73%	142	6.17%
34	広島県	103	4.48%	96	4.23%	103	4.47%
35	山口県	11	0.48%	12	0.53%	13	0.56%
36	徳島県	94	4.09%	106	4.67%	122	5.30%
37	香川県	110	4.78%	127	5.60%	141	6.13%
38	愛媛県	168	7.30%	156	6.88%	146	6.34%
39	高知県	648	28.17%	633	27.90%	619	26.89%
40	福岡県	50	2.17%	50	2.20%	54	2.35%
41	佐賀県	15	0.65%	16	0.71%	14	0.61%
42	長崎県	39	1.70%	32	1.41%	29	1.26%
43	熊本県	12	0.52%	14	0.62%	17	0.74%
44	大分県	63	2.74%	71	3.13%	86	3.74%
45	宮崎県	31	1.35%	27	1.19%	22	0.96%
46	鹿児島県	30	1.30%	25	1.10%	24	1.04%
47	沖縄県	16	0.70%	22	0.97%	28	1.22%
99	海外	1	0.04%	0	0.00%	0	0.00%
計		2,300	100.00%	2,269	100.00%	2,302	100.00%



講義室床面積

《ポイント》



- ①学生1人当たりの講義室床面積は、工学部系の類似大学11大学の中でも、8番目の数字であり、平均を下回っている。
- ②講義室のほかに実験室・自習室を含めると更に順位を下げる結果となる。
- ③新棟建設計画の中に講義室がないことから、今後も低い数字を維持することになる。

【類似大学比較】

◆講義室のみ

◆講義室のみ

A				
	大学名	講義室・演習室 (㎡)	学生数総計 (人)	学生1人当たりの面積 (㎡/人)
1	公立はこだて大	10,194	1,066	9.56
2	秋田県大	9,192	1,669	5.51
3	会津大	4,492	1,085	4.14
4	高知工大	8,913	2,269	3.93
5	岡山県大	5,700	1,569	3.63
6	滋賀県大	8,010	2,580	3.10
7	広島市大	5,013	1,789	2.80
8	前橋工大	3,345	1,216	2.75
9	山口東京理大	3,992	1,457	2.74
10	諏訪東京理大	3,143	1,283	2.45
11	公立千歳科技大	2,293	1,094	2.10
	平均	5,844	1,552	3.88

◆実験室等を含む。B

	大学名	実験室・自習室 (㎡)	A+B (㎡)	学生1人当たりの面積 (㎡/人)
	秋田県大	18,653	27,845	16.68
	広島市大	19,243	24,256	13.56
	公立はこだて大	2,139	12,333	11.57
	岡山県大	10,034	15,734	10.03
	公立千歳科技大	6,541	8,834	8.07
	山口東京理大	7,763	11,755	8.07
	滋賀県大	12,215	20,225	7.84
	会津大	3,998	8,490	7.82
	高知工大	7,794	16,707	7.36
	前橋工大	5,159	8,504	6.99
	諏訪東京理大	3,290	6,433	5.01
	平均	8,803	14,647	9.37

※学生総数は、学部生のみ



図書館蔵書数、図書館資料費

《ポイント》

①公立大学101校における本学の図書館蔵書数の状況は、次のとおりである。

- ・図書・雑誌 76位
- ・視聴覚資料点数・電子ジャーナル・電子書籍・データベース 96位

②図書館資料費は、公立大学101校のうち、本学は55位である。

大学名		印刷物の蔵書数								その他					図書館資料費			
		図 書				雑 誌				視覚 資料 点数	電子 ジャーナル	電子書籍	データ ベース					
		冊	冊	計	冊	種	種	計	冊									
番号	大学名	印刷物_図書	印刷物_洋書	印刷物_圖書計	印刷物_雑誌	印刷物_洋雑誌	印刷物_雑誌計	計	順位	雑誌	雑誌	タイトル	DB	種	計	順位	千円	順位
1	札幌 医 大	70,082	15,321	85,403	3,393	3,102	6,495	91,898	70	1,754	5,509	62,853	11	70,127	5	115,536	10	
2	新潟 公 大	223,960	40,514	264,474	2,424	183	2,607	267,081	24	7,531	21	0	16	7,568	51	54,912	23	
3	公立ほく 大	77,873	19,491	97,364	297	195	492	97,856	66	2,431	4,148	61,844	5	68,428	6	35,889	35	
4	名 誉 市 大	98,137	5,807	103,944	2,036	115	2,151	106,095	62	1,199	6,647	0	6	7,852	46	18,312	62	
5	札幌 市 大	115,129	11,846	126,975	724	25	749	127,724	53	3,032	6	394	11	3,443	72	21,453	56	
6	公立千歳科 医 大	36,530	14,765	51,295	160	191	351	51,646	92	468	6	10	3	487	95	7,685	88	
7	青森保健大	111,587	27,933	139,520	939	240	1,179	140,699	48	3,788	3,867	22,505	6	30,166	14	41,513	30	
8	青 森 公 大	148,620	45,774	194,394	388	714	1,102	195,496	36	2,295	57	0	6	2,358	78	32,444	41	
9	岩 手 県 大	235,458	67,457	300,915	686	452	1,138	302,053	22	5,227	36	87	5	5,355	60	33,930	38	
10	宮 城 大	176,276	25,320	201,596	4,253	751	5,004	206,600	32	7,645	6,826	723	17	15,211	26	56,394	21	
11	秋 田 県 大	248,331	59,706	308,037	2,812	1,073	3,885	311,922	20	5,846	3,473	2,333	11	11,663	34	71,571	16	
12	国際教養大	31,827	52,567	84,394	101	122	223	84,617	72	3,751	1,513	430,732	5	436,001	1	28,625	45	
13	秋 田 美 大	47,462	9,034	56,496	85	21	106	56,602	90	1,598	304	400	2	2,304	79	4,757	94	
14	山形県立大	65,379	6,904	72,283	1,115	228	1,343	73,626	81	3,064	5,262	65	1	8,392	39	19,416	60	
15	米沢栄養大	114,314	9,698	124,012	241	37	278	124,290	57	464	18	188	4	674	94	6,016	90	
16	福 島 医 大	144,380	94,541	238,921	4,625	3,090	7,715	246,636	27	3,960	9,819	7,207	7	20,993	19	168,289	7	
17	会 津 大	62,143	67,833	129,976	629	832	1,461	131,437	51	4,305	384	3,006	3	7,698	49	35,453	36	
18	茨城医療大	93,416	34,152	127,568	994	813	1,807	129,375	52	7,317	5,348	6	6	12,677	32	46,995	27	
19	群馬女大	119,365	45,278	164,643	2,452	264	2,716	167,359	42	1,257	20	0	4	1,281	88	5,915	91	
20	群馬産科大	73,339	7,544	80,883	633	129	762	81,645	75	1,768	2,188	143	1	4,100	66	23,744	50	
21	高 崎 経 大	329,626	60,389	390,015	5,409	738	6,147	396,162	16	6,136	9,907	602	11	16,656	24	56,165	22	
22	前 橋 工 大	72,470	7,668	80,338	518	284	802	81,140	76	371	77	0	0	448	96	21,716	55	
23	埼玉 県 大	112,348	11,936	124,284	1,911	236	2,147	126,431	54	2,146	11,999	387	11	14,543	29	32,676	40	
24	千葉保健大	103,148	6,779	109,927	1,896	191	2,087	112,014	60	1,394	6,318	235	5	7,952	43	24,167	49	
25	専 立 大	1,470,579	727,290	2,197,869	21,632	9,127	30,759	2,228,628	2	17,563	17,217	133,974	9	168,763	3	238,416	3	
26	産 技 大	20,279	6,548	26,827	57	29	86	26,913	94	227	11	1,603	5	1,846	81	9,889	81	
27	神奈川保健大	122,131	16,979	139,110	1,838	285	2,123	141,233	47	974	2,535	0	12	3,521	70	30,771	43	
28	横 田 市 大	663,948	226,692	890,640	17,193	6,161	23,354	913,994	5	5,562	22,376	17,987	16	45,941	8	204,051	5	
29	川崎市看護大	-	-	-	-	-	-	-	#N/A	-	-	-	-	0	100	-	#VALUE!	
30	新 潟 省 大	52,174	9,686	61,860	673	80	753	62,613	87	1,879	54	82	6	2,021	80	9,188	83	
31	新 潟 県 大	109,398	16,198	125,596	376	147	523	126,119	55	3,338	1,493	768	1	5,600	59	21,863	54	
32	長岡造形大	60,874	13,990	74,864	191	58	249	75,113	80	3,491	0	0	0	3,491	71	7,930	86	
33	三 桑 市 大	4,959	294	5,253	40	3	43	5,296	97	41	14	0	2	57	99	3,686	97	
34	山 梨 県 大	211,131	17,152	228,283	2,005	265	2,270	230,553	28	6,405	191	475	13	7,084	52	28,234	46	
35	徳 島 文 大	346,362	51,270	397,632	4,701	267	4,968	402,600	15	11,863	25,674	201,179	11	238,727	2	60,017	19	
36	長野 省 大	67,018	6,995	74,013	1,046	329	1,375	75,388	79	2,572	2,163	1,596	5	6,336	53	6,127	89	
37	長野 県 大	99,894	10,864	110,758	1,607	108	1,715	112,473	59	875	28	178	8	1,089	90	21,134	59	
38	長 野 大	130,496	16,471	146,967	1,009	126	1,135	148,102	44	4,990	13,400	7	7	18,397	22	12,594	74	
39	防衛東京医大	84,037	11,592	95,629	226	183	409	96,038	67	3,160	2,954	6,879	6	12,999	31	38,127	34	
40	富 山 県 大	139,230	36,656	175,886	1,451	815	2,266	178,152	39	1,046	5,596	1,309	12	7,963	42	72,548	15	
41	石 川 省 大	54,741	6,111	60,852	503	165	668	61,520	89	2,426	3,099	124	7	5,656	58	14,346	72	
42	石 川 県 大	81,403	12,532	93,935	1,044	356	1,400	95,335	68	1,247	1,811	2	1	3,061	74	16,283	67	
43	金 沢 美 大	95,919	28,182	124,101	1,321	160	1,481	125,582	56	3,375	152	0	0	3,527	69	11,068	80	
44	小 松 大	64,077	2,489	66,566	104	12	116	66,682	86	2,062	4,075	96	4	6,237	55	25,223	47	
45	福 井 県 大	328,165	73,499	401,664	3,563	1,125	4,688	406,352	14	4,559	1,686	0	15	6,260	54	77,623	14	
46	秋 田 県 立 大	50,227	2,150	52,377	56	2	58	52,435	91	801	3	0	1	805	92	7,827	87	
47	岐阜 省 大	89,938	7,698	97,636	767	126	893	98,529	65	2,043	2,228	315	3	4,589	61	19,056	61	
48	徳 島 県 立 大	43,071	4,106	47,177	110	46	156	47,333	93	3,245	6	0	3	3,254	73	3,858	96	
49	岐阜 県 立 大	41,720	29,312	71,032	660	398	1,058	72,090	83	627	73	0	2	702	93	45,041	29	
50	静 岡 県 大	320,278	98,472	418,750	3,930	1,388	5,318	424,068	12	6,616	7,583	1,233	8	15,440	25	51,903	25	
51	静岡文芸大	225,974	27,451	253,425	1,463	244	1,707	255,132	25	7,553	261	71	8	7,893	45	23,215	51	
52	静岡農科大	17,633	412	18,045	124	1	125	18,170	96	300	21	0	9	330	97	11,898	77	
53	静岡社会医大	963	194	1,157	20	0	20	1,177	99	0	3,863	0	6	3,869	67	29,000	44	
54	愛 知 県 大	496,402	200,479	696,881	6,675	1,610	8,285	705,166	7	7,729	13,213	787	7	21,736	18	53,081	24	
55	愛 知 公 大	82,140	62,889	145,029	1,715	302	2,017	147,046	46	28,532	157	257	9	28,955	15	12,470	75	
56	名古屋市大	578,118	277,250	855,368	7,629	4,546	12,175	867,543	6	10,277	41,754	1,749	11	53,791	7	175,016	6	
57	三 重 省 大	60,964	7,279	68,243	290	84	374	68,617	85	1,187	34	352	6	1,579	86	21,409	57	
58	滋 賀 県 大	344,913	67,608	412,521	1,349	750	2,099	414,620	13	15,214	1,674	707	7	17,602	23	47,241	26	
59	京 都 府 大	375,164	98,055	473,219	7,766	339	8,105	481,324	10	758	3,918	7,167	5	11,848	33	34,931	37	
60	京 都 医 大	63,157	26,629	89,786	42,056	64,255	106,311	196,097	35	1,940	11,074	682	10	13,706	30	95,974	11	
61	京 都 省 立 大	113,632	31,280	144,912	2,252	165	2,417	147,329	45	7,571	2	153	1	7,727	47	7,936	85	
62	福知山公大	88,713	3,206	91,919	1,056	38	1,094	93,013	69	1,642	4	0	2	1,648	85	9,787	82	
63	大 阪 公 大	-	-	-	-	-	-	-	#N/A	-	-	-	-	0	100	-	#VALUE!	
64	兵 庫 県 大	778,626	322,989	1,101,615	8,427	4,573	13,000	1,114,615</										

76	順 徳 大	1,694	1,524	3,218	22	6	28	3,246	98
77	広島市大	262,378	85,121	347,499	748	780	1,528	349,027	19
78	尾 道 市 大	185,482	12,880	198,362	1,584	99	1,683	200,045	34
79	福 山 市 大	188,601	25,304	213,905	2,075	293	2,368	216,273	30
80	山 口 県 大	160,900	19,597	180,497	2,534	323	2,857	183,354	38
81	下 関 市 大	236,910	35,080	271,990	4,608	483	5,091	277,081	23
82	山口東京理大	49,600	12,088	61,688	176	167	343	62,031	88
83	新 潟 公 大	176,292	23,538	199,830	430	314	744	200,574	33
84	曹川保健大	75,820	4,073	79,893	245	83	328	80,221	77
85	愛媛県技大	64,583	4,405	68,988	1,068	86	1,154	70,142	84
86	高 知 県 大	216,236	32,984	249,220	1,860	442	2,302	251,522	26
87	高 知 工 大	104,094	29,550	133,644	808	524	1,332	134,976	49
88	九 州 歯 大	36,488	6,314	42,802	22,156	25,314	47,470	90,272	71
89	福岡女大	161,063	48,700	209,763	2,460	253	2,713	212,476	31
90	福岡県大	147,520	22,624	170,144	289	285	574	170,718	41
91	北九州市大	467,781	128,602	596,383	6,412	1,204	7,616	603,999	8
92	長 崎 県 大	225,280	81,916	307,196	405	475	880	308,076	21
93	熊本県大	306,983	75,572	382,555	4,385	1,330	5,715	388,270	18
94	大分県科大	76,433	7,199	83,632	485	161	646	84,278	74
95	宮 崎 県 大	67,432	10,684	78,116	213	120	333	78,449	78
96	宮 崎 公 大	105,861	27,204	133,065	547	17	564	133,629	50
97	沖 縄 芸 大	61,632	21,151	82,783	1,619	103	1,722	84,505	73
98	沖 縄 畜 大	61,526	7,733	69,259	3,159	177	3,336	72,595	82
99	名 桜 大	135,094	40,308	175,402	937	280	1,217	176,619	40
100	大 阪 府 大	762,950	263,731	1,026,681	9,667	7,196	16,863	1,043,544	4
101	大 阪 市 大	1,575,885	917,930	2,493,815	21,977	12,140	34,117	2,527,932	1
	合 計	18,737,803	5,721,035	24,458,838	302,982	178,346	481,328		

32		2,736	6	2,774	76
1,957	6,368	2,188	9	10,522	37
5	3	160	8	176	98
4,540	10,934	62,799	6	78,279	4
1,377	9,844	7,210	5	18,436	21
4,460			14	4,474	63
780	2,484	949	3	4,216	65
984	0	0	1	985	91
1,801	1	0	6	1,808	83
1,791	4	0	3	1,798	84
3,522	3	131	7	3,663	68
7,314	29,319	8,732	14	45,379	10
115	1,718	0	2	1,835	82
1,772	12,263	579	9	14,623	28
5,659	25	0	8	5,692	57
17,699	9,721	4,880	17	32,297	13
8,035	35	93	11	8,174	41
8,240	19	88	4	8,351	40
2,289	597	15	5	2,906	75
4,525	3		5	4,533	62
7,130	699	105	9	7,943	44
8,507	0	0	3	8,510	38
2,967	7,711	848	15	11,541	35
3,357	4,163	166	15	7,701	48
5,505	24,065	4,461	11	34,042	12
14,288	12,716	18,474	31	45,509	9
430,447	461,657	1,138,244	713		

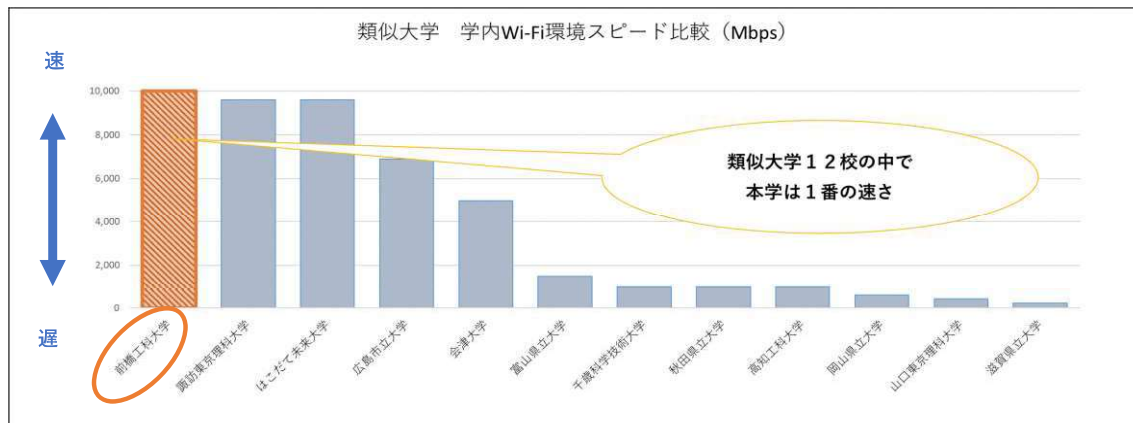
		98
46,161		28
22,962		52
33,250		39
16,566		66
8,173		84
70,878		17
4,828		93
11,328		79
11,548		78
32,400		42
148,243		9
21,219		58
14,883		71
15,184		69
60,408		18
40,830		31
22,137		53
17,382		65
18,171		64
18,251		63
4,692		95
15,050		70
12,451		76
207,002		4
311,591		2
25,865,599		



学内WiFi環境スピード比較

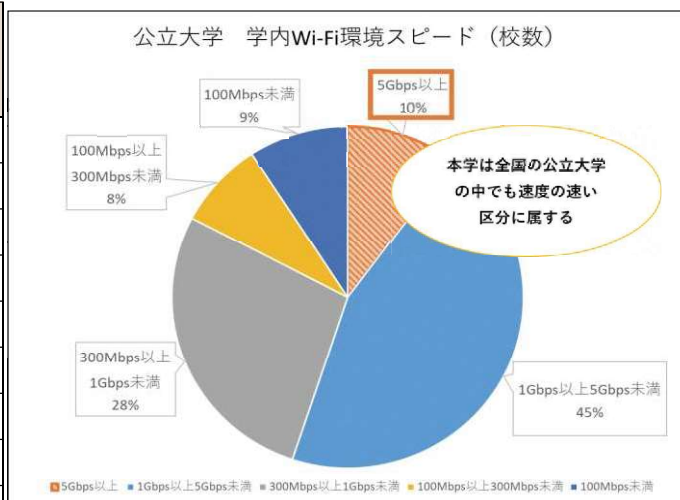
《ポイント》

- ①本学のWi-Fi環境の通信速度（理論値）は、類似大学11校のうち、1番の速さを誇る。
類似大学の半数以上が1.5Gbps以下である中で、本学は、10Gbpsと高い水準となっている。
5Gbps以上の大学と1.5Gbps以下の大学が約半数ずつであり、ネットワークの整備状況により大きな差が生じている。
- ②全国の公立大学と比較しても、上位10%である最も速度の速い5Gbps以上の区分に属している。



↑【類似大学 学内Wi-Fi環境スピード】

	大学名	通信速度 (理論値)	通信速度 (Mbps 換算)
1	前橋工科大学	10Gbps	10,000
2	諏訪東京理科大学	9.6Gbps	9,600
一	はこだて未来大学	9.6Gbps	9,600
4	広島市立大学	6.9Gbps	6,900
5	会津大学	5Gbps	5,000
6	富山県立大学	1.5Gbps	1,500
7	千歳科学技術大学	1Gbps	1,000
一	秋田県立大学	1Gbps	1,000
9	高知工科大学	218Mbps	1,000
10	岡山県立大学	600Mbps	600
11	山口東京理科大学	433Mbps	433
12	滋賀県立大学	217Mbps	217



↑【公立大学 学内Wi-Fi環境スピード】

通信速度	5Gbps以上	1Gbps以上 5Gbps未満	300Mbps 以上1Gbps 未満	100Mbps 以上 300Mbps 未満	100Mbps 未満	計
学校数	10	44	27	8	9	98

本学のWi-Fi整備状況

最新規格 Wi-Fi 6 (IEEE802.11ax) 対応

アクセスポイント設置数 120台

アクセスポイント1台につき、50台のネットワーク機器（P C、スマホ等）の同時接続が可能。講義室等のみならず、学生会館にも配備され、学習だけでなく、食事や休憩中にも気軽に最速のインターネットを利用することができる。

本学の建屋内では電波がほぼ隙間なく網羅されており、全てのアクセスポイントが同じ認証を使用しているため、フロアや棟を移動しても途切れることがない。

※理論値=最大通信速度。最良の条件が整った際に発揮できる理論上の最大値のこと。実際の通信速度は、環境や時間帯、回線の状態によって変化する。

※bps (bits per second) = ネット回線の通信速度の単位。"1秒間に送信できるデータ量 (情報量)"を表す。1Gbps = 1,000Mbpsである。

各公立大のWi-Fi環境スピードについては、令和5年6月8日～9月7日の期間で、各大学にメールで調査を行い、回答を得たもの。学内に異なるスピードのWi-Fiがある場合は、最も速度の速いものを採用した。



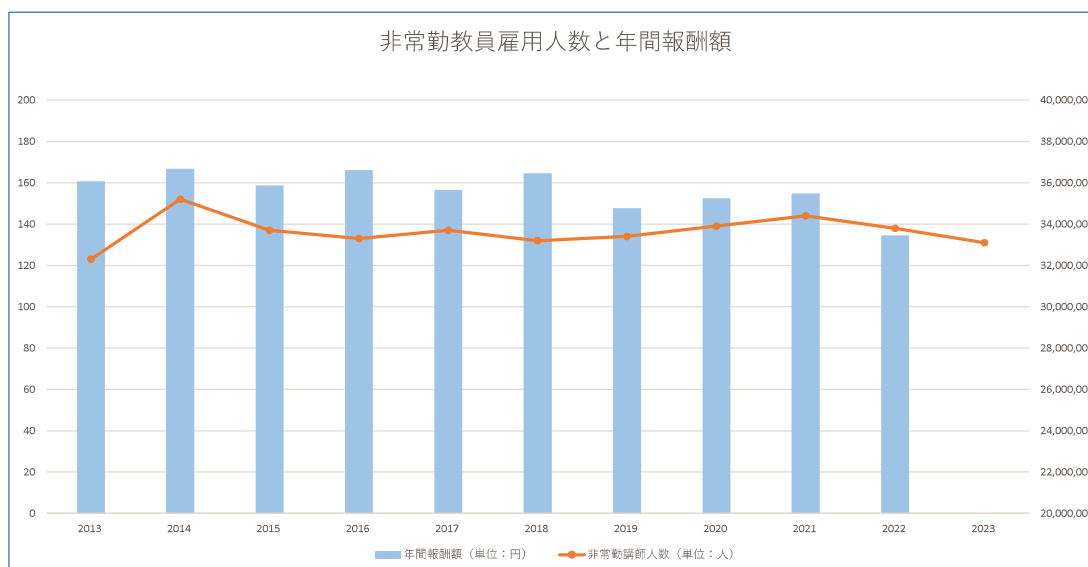
非常勤講師雇用実績

《ポイント》



- ①非常勤講師の人数は、年度によりバラつきがあるが、平均135人程度で推移している。
- ②法人化2年目の2014年度は、前年度の123人から152人に増加したが、常勤の教員数が2人少なかったこと（2013年度:70人、2014年度:68人、2015年度:70人）が影響している（常勤教員が受け持つ授業等をカバーするため）。
- ③年間報酬額は、2018年度から減少傾向となっている。

【非常勤講師人数と年間報酬額】			
	年度	非常勤講師人数（単位：人）	年間報酬額（単位：円）
法人化1年目	2013	123	36,065,000
法人化2年目	2014	152	36,686,000
法人化3年目	2015	137	35,879,422
法人化4年目	2016	133	36,624,000
法人化5年目	2017	137	35,652,340
法人化6年目	2018	132	36,463,000
法人化7年目	2019	134	34,771,000
法人化8年目	2020	139	35,251,000
法人化9年目	2021	144	35,482,000
法人化10年目 学科再編	2022	138	33,448,000
法人化11年目	2023	131	
	平均	135.2	35,632,176





TA・RA雇用実績

《ポイント》

【TA】ティーチングアシスタント…優秀な大学院の学生に対し、教育的配慮のもとで学部生への教育補助業務を行わせ、大学教育の充実及び大学院学生へのトレーニングの機会提供を図るとともに、これに対する手当を支給することにより、大学院の学生の処遇改善の一助とすることを目的とする制度

①大学院進学者数の増加に伴い、全体的に緩やかな増加傾向が見られる。

②2014年度に生物工学専攻における雇用人数が大幅に増加しているのは、当該専攻への入学者数が増えたこと（2013年度：1人、2014年度：13人）によるものである。

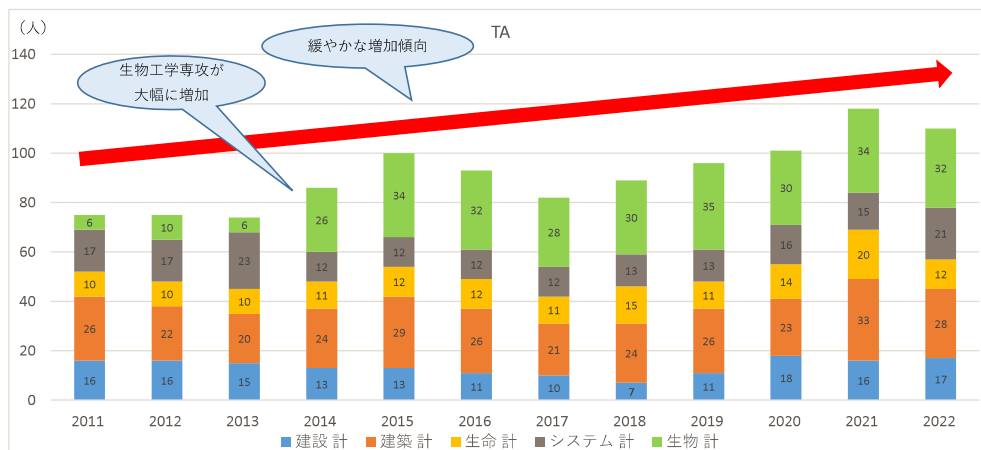
【RA】リサーチアシスタント…教育的配慮のもとで、大学等が行う研究プロジェクト等に大学院の学生等を研究補助者として参画させ、研究遂行能力の育成及び研究体制の充実を図るとともに、これに対する手当を支給することにより、大学院の学生の処遇改善の一助とすることを目的とする制度

年度によるばらつきがあるが、共同研究と分野横断型研究における雇用人数は、減少傾向にある。

※ 分野横断型研究は、令和5年度から中止

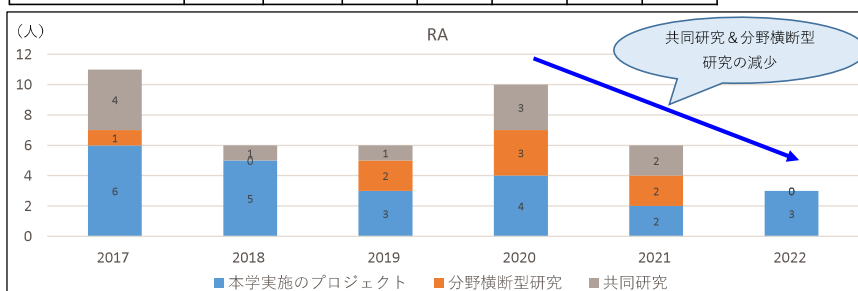
【TA】授業補助

		(単位：人)															
		法人化3年前	法人化2年前	法人化1年前	法人化1年目	法人化2年目	法人化3年目	法人化4年目	法人化5年目	法人化6年目	法人化7年目	法人化8年目	法人化9年目	法人化10年目 学科再編	平均		
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022			
建設	前期		7	8	7	7	7	5	4	3	8	9	8	9	6.8		
	後期		9	8	8	6	6	6	6	4	3	9	8	8	6.8		
	計		16	16	15	13	13	11	10	7	11	18	16	17	13.6		
建築	前期		14	11	11	12	16	17	13	13	14	13	16	16	13.8		
	後期		12	11	9	12	13	9	8	11	12	10	17	12	11.3		
	計		26	22	20	24	29	26	21	24	26	23	33	28	25.2		
生命	前期		5	5	5	5	6	7	6	9	6	7	10	6	6.4		
	後期		5	5	5	6	6	5	5	6	5	7	10	6	5.9		
	計		10	10	10	11	12	12	11	15	11	14	20	12	12.3		
システム	前期		7	7	11	6	6	6	6	7	7	9	9	13	7.8		
	後期		10	10	12	6	6	6	6	6	6	7	6	8	7.4		
	計		17	17	23	12	12	12	12	13	13	16	15	21	15.3		
生物	前期		3	5	3	13	17	16	14	15	18	15	17	16	12.7		
	後期		3	5	3	13	17	16	14	15	17	15	17	16	12.6		
	計		6	10	6	26	34	32	28	30	35	30	34	32	25.3		
合計			75	75	74	86	100	93	82	89	96	101	118	110	91.6		



【RA】研究補助

		(単位：人)						平均
		法人化5年目	法人化6年目	法人化7年目	法人化8年目	法人化9年目	法人化10年目 学科再編	
		2017	2018	2019	2020	2021	2022	
本学実施のプロジェクト		6	5	3	4	2	3	3.8
分野横断型研究		1	0	2	3	2	0	1.3
共同研究		4	1	1	3	2	0	1.8
合計		11	6	6	10	6	3	7.0





本学学生への生成AI に関する意識調査

《ポイント》

基礎教育センターの矢口准教授の協力により事務局が行った「本学学生への生成AI に関する意識調査」（調査期間：2023年11月6日～2023年11月12日）の結果は、次のとおりである。

- ①ChatGPTなどの生成AIについて興味があると答えた学生の割合は、70%強であった。
- ②今後の利用意識に関しては、「ふんだんに使用」、「少しは利用」、「一切利用しない」がおおむね1/3ずつであった。

本学学生への生成AI に関する意識調査(n=138)

調査期間2023年11月6日（月）～11月12日（日）

（1）ChatGPT などの生成 AI に興味をもっていますか？【選択式】

- ア. 興味がある： 73.9% イ. どちらともいえない： 13.8%
- ウ. 興味がない： 12.3%

（2）生成 AI 利用経験について【選択式】

- エ. 学業や研究・創作活動のために既に利用している： 34.1%
- オ. 触れたことはあるが、学業や研究、創作活動には利用していない： 31.2%
- カ. 触れたことがない： 34.8%

（3）（2）でエを選んだ方へ質問：「どんなことに活用しましたか？」【記述式】

（4）（2）でオとカを選んだ方へ今後について伺います【選択式】

- キ. 学業や研究・創作活動のために、ふんだんに利用しようと思う： 8.8%
- ク. 学業や研究・創作活動のために、少しは利用しようと思う： 95.6%
- ケ. 学業や研究・創作活動には一切利用しないと思う： 13.2%

（5）（4）でケを選んだ人へ質問：「活用するつもりがない理由は？」【記述式】

（6）生成 AI への抵抗感について【選択式】

- コ. とてもある： 5.1% サ. ややある： 13.0%
- シ. どちらともいえない： 30.4% ス. あまりない： 50.0%

（7）（6）でコ、サを選んだ方へ質問：「どこに抵抗感を感じますか？」【記述式】

（8）質問：「生成 AI にどんなことをどれくらい期待しますか？」【記述式】

（3）「どんなことに活用しましたか？」への回答：

- 知りたい事柄を要約させること。
- どうしても解答に行き詰まった時に手助けしてもらうために活用。
- 論文の和訳をして自分が和訳したものと比べる。
- 課題で作成したソースコードが上手くデバッグされない時に問題箇所を探ってもらったり、データの並び替えをお願いしたり。
- 自分で作成したプログラムが正常に動作しなかった際に、どこが間違っていて、何が正解かを調べる。
- 課題に取り組むため、課題に関する事項を chatGPT に深めて書いてもらい、あくまで参考にしつつ、表現と知識の拡大に利用していた。
- 文章を書く際の言い回しなどの参考に。
- 授業の内容に対する理解を深めるため。

- 地域活性化のための地域活動であるハロウィンパーティーをやった時に司会の文章を考えてもらった。
- 授業内で、生成系 AI への指示のみを用いてどのようなコードをかけるかの講義があった。
- 化学等分らない事を質問して日々の授業やテストに活用していた。
- 研究やレポートでプログラムのコードを書く時の足掛かりにしている。
無料版では精度が低いため最終的には手で修正する。
- レポートの文の書き方が分からなかったので chatGPT に例文を書いてもらい参考にしました。
- 教職の AI に関する資料集めのため。
- イラスト制作のためのアイデアを得るために使用。
- 文書を作る際に様々な考え方のパターンを得ることに使った。

(5)「活用するつもりがないのはどうしてですか？」への回答：

- 全て自分の意見で書きたい。
- AI に頼りたくない。
- 自分の能力、技能を正確に評価されない場合があるため。
- 自分の力でやることに意味があると考えているから。
- 活用の仕方が想像できないためです。また、どちらかというところと研究には自分で主体的に物事を考えて取り組みたいと考えているからです。
- 自分の能力の成長を阻害する可能性があるから。
- 仮に AI が出した答えが正しいとしても、そこに辿り着くまでの過程の多くが損なわれてしまうデメリットは大きすぎる。
- AI は正しくない情報を用いることが多く、AI に頼ることに慣れてしまうと考えること自体をしなくなる傾向になると思うから。

(7)「どんなところに抵抗感を感じますか？」への回答：

- 学習元の著作権の侵害や生成 AI を活用していないクリエイターの不利益。
- 人間よりも早いスピードで物事を捉えているところ。
- 他の人と被ったりしそうでからやだ。
- 私は絵を趣味で描いているのですが、AI イラストというものが出てきてから絵の掲示板のようなところが AI だらけになってしまってオリジナリティも何も無くなってしまったから。創作物に AI を使わないで欲しい。
- 無料で使える範囲だとまだまだ精度が低く、信用できるものではないから。
- 機械の考える創作物に興味がない。
- 一度使ってしまったら乱用する可能性があるからです。タバコやお酒のような中毒性を有していてあまりよろしくないと思います。実際に、私の友達で生成 AI を活用している人はあまり成績が良い印象を受けません。

(8)「生成 AI への期待感について」への回答：

- 課題であれば生成系 AI にできることはやらせて、それ以外でいつも通り課題に時間をかけて深めるべきであると考え。課題で使うなという考えは理解ができない。
- ネットで検索する手間を減らす役割。自分で考えるべきところには関与しない使い方。
- 専門的な質問には上手く回答できないことがままある、しかしコンテンツ作りでは相当面白いと思う。(AI に作らせた歌、絵の解析等)
- 知識が不足しているところを補ってもらうような辞書のような働き。
- 研究の方向性が定まらないとき、関連のある研究や論文、用語などを教えてもらいたい。あくまで方向性を定めるものとして用いるのみであって、生成 AI に任せっきり、あるいはそれを利用した研究は行いたくない。
- まだ精度が低く不正確な内容になることも多いので、自分が理解している分野において文章校正に活用できることを期待している。またプログラミングのデバッグにも活用したい。
- 自身の思考の範疇の外にある発想を活用するのに大いに期待している。
- 多分学校側から色々な制限をかけられると思うので、やれることが限られているだろうと思うので、期待はそこまでしてないです。
- 使い方次第では非常に便利なものなので、友人や教授に分からない箇所を聞く前に生成 AI で確認するぐらいには期待している。
- 生成系 AI は便利そうだと思うが、反面、ソースが分からないため個人的に使うならまだしも、研究に使用するのには抵抗があるので、参考文献を示せるようになったら使いたいと思う。
- 知識を効率よく増やせ、幅広い分野を関連させた研究ができると期待する。



教育プログラム配属希望状況の推移と配属結果

《ポイント》



教育プログラム配属希望状況について、第1回アンケートでは、建築都市プログラムと情報システムプログラムの希望者が多い結果となった。2022年度入学生については、教育プログラム配属に向けての研究室見学会や説明会などを実施したことにより、学生の希望にも変化が見られ、本調査（最終）の時点では、希望者の偏りが少し平準化された。

2022年度入学生 教育プログラム配属希望状況の推移と配属結果

●建築・都市・環境工学群

(単位：人)

プログラム名	配属定員 (内部定員)	第1回アンケート (2022. 4)	第2回アンケート (2022. 9)	第3回アンケート (2022. 12)	本調査 (2/16時点)	本調査 (最終)	配属結果
土木・環境プログラム	50	15	26	30	31	31	36
建築都市プログラム	60	115	88	82	73	68	61
工学デザインプログラム	50	20	34	35	44	49	50
計	160	150	148	147	148	148	147

●情報・生命工学群

(単位：人)

プログラム名	配属定員 (内部定員)	第1回アンケート (2022. 4)	第2回アンケート (2022. 9)	第3回アンケート (2022. 12)	本調査 (2/16時点)	本調査 (最終)	配属結果
情報システムプログラム	53	108	73	69	69	69	53
医工学プログラム	53	32	64	66	67	68	53
生物応用プログラム	53	17	19	18	20	19	50
計	159	157	156	153	156	156	156

2023年度入学生 教育プログラム配属希望状況 (R5.11現在)

●建築・都市・環境工学群

(単位：人)

プログラム名	配属定員 (内部定員)	第1回アンケート (2023. 4)	第2回アンケート (2023. 9)	第3回アンケート (2023. 12)	本調査 (2/16時点)	本調査 (最終)	配属結果
土木・環境プログラム	50	15	23				
建築都市プログラム	60	115	101				
工学デザインプログラム	50	22	28				
計	160	152	152	0	0	0	0

●情報・生命工学群

(単位：人)

プログラム名	配属定員 (内部定員)	第1回アンケート (2023. 4)	第2回アンケート (2023. 9)	第3回アンケート (2023. 12)	本調査 (2/16時点)	本調査 (最終)	配属結果
情報システムプログラム	50	90	69				
医工学プログラム	50	32	49				
生物応用プログラム	50	17	20				
計	150	139	138	0	0	0	0



就職率（高知工科大学との比較）

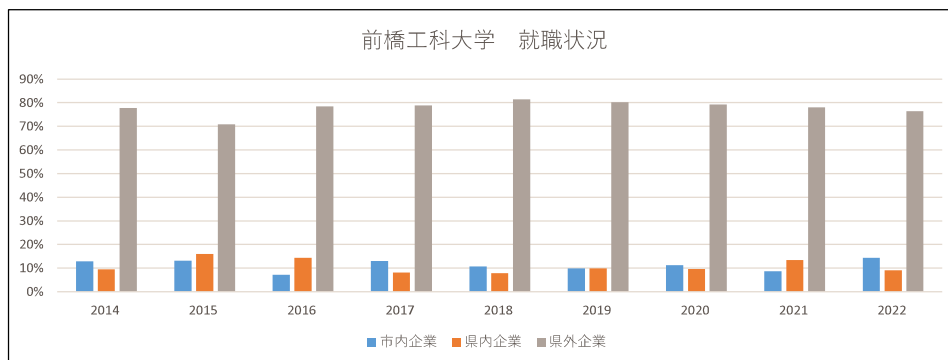
《ポイント》



- ①市内企業への就職率を比較すると高知工科大学のほうが高い。
 - ②県内企業への就職率を比較すると前橋工科大学のほうが高い。
 - ③県外企業への就職率を比較すると高知工科大学のほうが高い。
- ⇒県内就職率は、前橋工科大学のほうが高い。

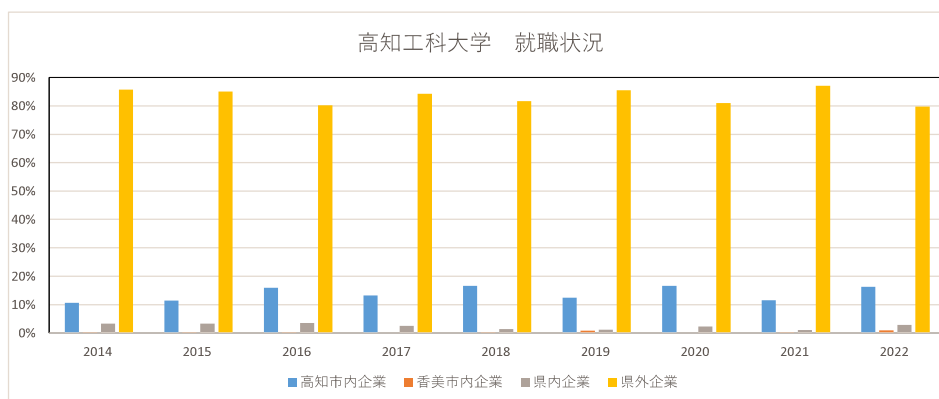
【前橋工科大学】

	法人化2年目	法人化3年目	法人化4年目	法人化5年目	法人化6年目	法人化7年目	法人化8年目	法人化9年目	法人化10年目 学科再編	平均
市内企業	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	11.2%
県内企業	12.8%	13.1%	7.2%	13.0%	10.7%	9.9%	11.2%	8.6%	14.4%	10.9%
県外企業	9.4%	16.0%	14.4%	8.1%	7.9%	9.9%	9.6%	13.4%	9.1%	78.0%



【高知工科大学】

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	平均
高知市内企業	10.7%	11.4%	15.9%	13.2%	16.6%	12.4%	16.7%	11.5%	16.3%	13.9%
香美市内企業	0.3%	0.3%	0.3%	0.0%	0.3%	0.9%	0.0%	0.3%	1.0%	0.4%
県内企業	3.3%	3.3%	3.5%	2.5%	1.4%	1.2%	2.3%	1.1%	2.9%	2.4%
県外企業	85.8%	85.0%	80.2%	84.3%	81.7%	85.5%	81.0%	87.1%	79.8%	83.4%





目的積立金

《ポイント》

■県内公立大学法人における目的積立金の活用状況

- ①高崎経済大学と群馬県の2法人は、いずれも目的積立金を取り崩して充当する事業を特定せず、通常予算で対応できない経費や突発的に発生した経費に充当している。具体的には、施設改修や修繕、学修環境整備に活用している。
- ②2020年度目的積立金残高に対する取崩割合を見ると、2021年度では高崎経済大学が45%、群馬県が32%と割合が高い。目的積立金の残高に鑑みると、次期中期目標期間への繰越しを意識していない（できない）ことがうかがえる。
- ③当該2法人では、本法人が目的積立金の取崩しを計画している各種システム更新経費などは、通常予算で対応している。
- ④高崎経済大学が前期中期目標期間繰越し積立金を取り崩さないのは、特に意味はなく、法人化初年度に利益処分したときの目的積立金が30,000千円であったことから職員間の暗黙の了解で取り崩さないことになっているとのこと。

公立大学法人名	取崩額		2020年度末残高		2021年度末残高	
	2020	2021	前期中期目標期間	目的積立金	前期中期目標期間	目的積立金
高崎経済大学	なし	24,657	30,000	24,678	30,000	314
群馬県	なし	24,280	—	76,865	—	83,002
前橋工科大学	なし	119,758	235,519	71,765	115,760	170,133

《ポイント》

■公大協工学部に所属する公立大学法人における目的積立金の活用状況

※公大協工学部に所属する16大学の中から、学生数が本学と類似し、かつ、理科系の学生の割合が高い8大学（法人）を抽出

- ①2年連続（2020年度・2021年度）で目的積立金を取り崩して活用しているのは、5法人

〔はこだて未来大学、秋田県立大学、会津大学、滋賀県立大学、広島市立大学〕

- ②2年連続で取崩しがないのは、3法人

〔公立千歳科学技術大学、富山県立大学、岡山県立大学〕

- ③充当する事業を明確に示しているのは、3法人

〔会津大学、秋田県立大学、広島市立大学〕

※他の法人では、広く教育研究の推進及び施設整備に充てている。

- ④充当する経費は、修繕費や、消耗品費、報酬・委託・手数料など多岐にわたるが、経常経費化する恐れもある職員人件費に充当している法人もある。

〔秋田県立大学、会津大学、広島市立大学〕

➡本法人では、目的積立金を業務費や一般管理費の費用に充当する（損益計算上の取崩し）よりも、損益計算に影響を与えないようにするために、特定された償却資産の取得に充当する（利益剰余金を資本剰余金に振替え）ことを優先している。他大学における目的積立金を充当した経費をみると、損益計算への影響について、あまりこだわりのないものと思われる。

公立大学法人名	取崩額		2020年度末残高		2021年度末残高	
	2020	2021	前期中期目標期間	目的積立金	前期中期目標期間	目的積立金
公立千歳科学技術大学	なし	なし	—	25,607	—	83,496
はこだて未来大学	41,568	35,336	206,545	なし	205,209	206,791
秋田県立大学	143,711	268,420	201,345	243,368	12,971	455,384
会津大学	178,749	331,267	889,825	623,088	558,557	963,007
富山県立大学	なし	なし	—	589,211	783,669	なし
滋賀県立大学	37,844	43,729	58,847	44,612	15,117	222,518
岡山県立大学	なし	なし	380,897	272,753	380,897	328,905
広島市立大学	79,319	53,270	53,270	464,474	0	675,431
前橋工科大学	なし	119,758	235,519	71,765	115,760	170,133

■中期目標期間の終了時に繰り越した積立金

公立大学法人名	終了期	金額(千円)	平均(千円)	設立団体からの出資
公立大学法人公立千歳科学技術大学	-	-	-	土地・建物
公立大学法人はこだて未来大学	第1期(2013)	316,090	309,102	土地・建物
	第2期(2019)	302,113		
公立大学法人秋田県立大学	第1期(2011)	317,229	353,138	土地・建物
	第2期(2017)	389,046		
公立大学法人会津大学	第1期(2011)	973,268	1,201,310	土地・建物
	第2期(2017)	1,429,351		
公立大学法人富山県立大学	第1期(2020)	783,669	783,669	土地・建物
公立大学法人滋賀県立大学	第1期(2011)	563,953	417,419	土地・建物・構築物
	第2期(2017)	270,885		
公立大学法人岡山県立大学	第1期(2012)	739,588	560,243	土地・建物
	第2期(2018)	380,897		
公立大学法人広島市立大学	第1期(2015)	1,333,469	1,333,469	土地・建物
公立大学法人前橋工科大学	第1期(2018)	285,540	285,540	土地
平均		621,931	655,486	

積立金の繰越しが多い(公大)会津大学、(公大)広島市立大学は、建物や附属設備の維持補修にも目的積立金を取り崩して充てていることから、当該2法人を除くと、

平均 434,901 451,518

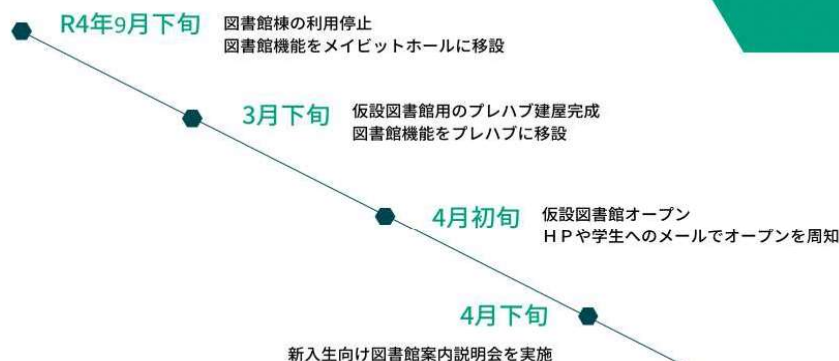
■2021年度末現在の目的積立金残高

順位	公立大学法人名	中期目標期間	2021年の時期	金額(千円) A	基準財政需要額(千円) B	A/B (%)
1	公立大学法人会津大学	2018～2023	4年終了時	1,521,564	1,894,917	80.3
2	公立大学法人富山県立大学	2021～2026	1年終了時	783,669	3,042,432	25.8
3	公立大学法人岡山県立大学	2019～2024	3年終了時	709,802	2,449,295	29.0
4	公立大学法人広島市立大学	2016～2021	6年終了時	675,431	2,035,184	33.2
5	公立大学法人秋田県立大学	2018～2023	4年終了時	468,355	2,692,623	17.4
6	公立大学法人はこだて未来大学	2020～2025	2年終了時	432,000	1,810,179	23.9
7	公立大学法人前橋工科大学	2019～2024	3年終了時	285,893	1,944,591	14.7
8	公立大学法人滋賀県立大学	2018～2023	4年終了時	237,635	3,314,751	7.2
9	公立大学法人公立千歳科学技術大学	2019～2024	3年終了時	83,496	1,665,540	5.0
平均				577,538	2,316,612	26.3



図書館休止の影響と投入一時金

仮設図書館オープンまでの経緯



前橋工科大学附属図書館 入館者・貸出冊数統計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入館者数 (人)	2023年度	1,454	1,165	1,561	1,972	941	↓利用停止							7,093
	2022年度						176	392	440	357	360	188	79	1,992
													停止後計	9,085
	2018年度	5,558	6,335	6,493	7,908	3,100	2,505	6,025	5,594	4,675	6,011	2,050	864	57,118
	減少率	-73.8%	-81.6%	-76.0%	-75.1%	-69.6%	-93.0%	-93.5%	-92.1%	-92.4%	-94.0%	-90.8%	-90.9%	-84.1%
貸出冊数 (冊)	2023年度	521	639	826	743	771	↓利用停止							3,500
	2022年度						444	762	605	489	922	113	60	3,395
														6,895
	2018年度	1,209	1,777	1,662	1,610	970	1,186	1,666	1,570	1,525	1,351	595	335	15,456
	減少率	-56.9%	-64.0%	-50.3%	-53.9%	-20.5%	-62.6%	-54.3%	-61.5%	-67.9%	-31.8%	-81.0%	-82.1%	-55.4%
電子ブック (回)	2023年度	17	18	22	15	13								85
	2022年度	0	5	15	25	20	29	1	2	13	55	16	24	205

※2022年9月15日よりメイビットホールへ執務機能を移転 ※2023年4月10日より仮設図書館へ一部図書館機能を移転

入館者数及び貸出冊数等、利用率の減少傾向が明らかに

【図書館休館等に伴う臨時経費】

図書館休館臨時対応経費 199,337千円（R8年度まで）

（主な内訳）

(1) 仮設図書館リース料	76,560千円
(2) 民間事務所借上料	21,096千円
(3) 教員居室等引越し料	21,226千円
(4) 校舎改修設計業務委託料	5,225千円
(5) 校舎改修工事請負工事費	63,302千円



電気料金の推移

《ポイント》

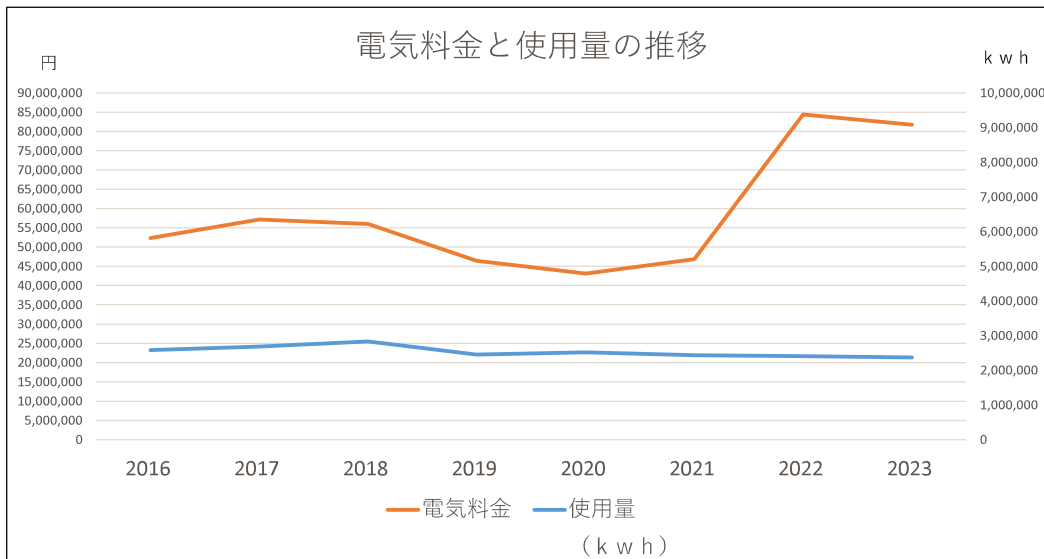


ロシアのウクライナ侵攻に伴う燃料価格の高騰や円安の影響などにより、2022年度から電気料金が増加している。

2021年度と2022年度を比較すると、2022年度は、使用量が▲1.2%となっているものの、電気料金は37,614,451円（+80.3%）増加している。

年度	使用量 (k w h)	電気料金	電力会社	使用量 伸び率 (%)
2016	2,582,297	52,358,706	東京電力エナジーパートナー	—
2017	2,684,605	57,153,758	東京電力エナジーパートナー	4.0
2018	2,831,830	55,986,658	F-Power	5.5
2019	2,457,961	46,451,023	東京電力エナジーパートナー	△ 13.2
2020	2,523,764	43,111,899	東京電力エナジーパートナー	2.7
2021	2,432,891	46,828,716	F-Power	△ 3.6
2022	2,404,432	84,443,167	エネット	△ 1.2
2023	2,374,423	81,789,743	東京電力パワーグリッド	△ 1.2

※2023年度は試算額





学生生活実態調査（前橋工科大学）

※学生生活実態調査は、本学学生の経済状況や大学生生活など多岐に渡っており、幅広い視点から本学学生の生活実態等を把握し、今後の大学内での各種検討につなげることを目的とするものである。 調査時期：9月

《ポイント》



- ①本学を選択した理由の大半が「公立大学であること」又は「学費が安いこと」であり、公立大学としての優位性がうかがえる。
- ②本学をどのようにして知ったかについては、約50%が「学校の先生から聞いた」であることから、入試広報として高等学校教員への情報発信の強化が重要である。
- ③居住分布は市内が7割、県内が2割、県外が1割であり、住居形態はアパート等が7割、自宅が3割である。
- ④クラブ・サークル・団体への加入状況は、コロナ禍を契機として未加入が加入を上回った。
- ⑤不安・悩みなどの相談先は、友人及び家族が8割を占める。
- ⑥日頃悩んでいることについて、「生活費・お金」と「特にない」は、相関関係が最も強く、「生活費・お金」に悩む学生が増加すると「特にない（悩みがない）」学生が減少する。

～以下、自宅通学者を除く～

- ⑦アルバイトの従事者とアルバイト時間については、コロナ禍を機に従事者が10%以上減少した。また、従事時間10時間未満が9%増加した一方、20時間以上30時間未満が7%減少した。
- ⑧アルバイトの目的について、「生活費」と「娯楽・嗜好品費」は、相関関係が最も強く、「生活費」を目的とする学生が増加すると「娯楽・嗜好品費」を目的とする学生が減少する。
- ⑨アルバイトの収入月額は、コロナ禍を機に減少している。特に、5万円以上7万円未満の者の減少率が最も高く、7%である。
- ⑩家庭からの援助月額は、援助なし～5万円未満が全体の7割以上を占める。

		法人化3年前	法人化2年前 大学院前期改編	法人化1年前	法人化 大学院後期改編	法人化2年目	法人化3年目	法人化4年目	法人化5年目	法人化6年目	法人化7年目	法人化8年目	法人化9年目	法人化10年目 学科再編	平均
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	
回答状況	対象者数	1,226	1,228	1,246	1,243	1,278	1,273	1,281	1,274	1,306	1,330	1,322	1,317	1,351	1,283
	回答者数	939	908	920	954	1,051	1,074	1,058	1,085	1,034	1,017	938	945	904	987
	回答率	76.6%	73.9%	73.8%	76.7%	82.2%	84.4%	82.6%	85.2%	79.2%	76.5%	71.0%	71.8%	66.9%	77%
本学を選 択した理 由	公立大学だから	33.3%	27.7%	24.0%	26.0%	26.1%	24.0%	設問なし							26.9%
	学費が安いから	18.3%	16.7%	15.0%	12.4%	11.2%	16.5%								15.0%
	自分の偏差値に あっていたから	22.8%	16.0%	16.0%	16.8%	17.0%	16.2%								17.5%
	専門の研究・教育 の内容が充実して いるから	6.1%	5.2%	6.0%	5.6%	6.8%	5.8%								5.9%
本学をど のように して知っ たか	学校の先生から聞 いた	49.5%	50.6%	46.0%	48.2%	47.0%	46.7%	設問なし							48.0%
	受験雑誌で見つ けた	25.0%	22.8%	24.0%	19.1%	16.2%	13.3%								20.1%
	ホームページで見 つけた	13.3%	11.5%	18.0%	12.6%	19.9%	12.5%								14.6%
居住	市内	69.7%	73.9%	74.0%	76.1%	75.8%	76.4%	71.6%	71.6%	68.8%	70.8%	71.1%	71.1%	67.6%	72.2%
	県内	21.3%	17.4%	18.0%	17.5%	17.4%	17.1%	20.7%	21.0%	22.7%	20.7%	20.7%	20.3%	23.3%	19.9%
	県外	9.0%	8.7%	8.0%	6.4%	6.8%	6.5%	7.7%	7.4%	8.6%	8.4%	8.2%	8.6%	9.1%	7.9%
住居	自宅	29.9%	28.4%	27.0%	26.5%	25.8%	26.0%	25.8%	26.8%	25.7%	28.1%	29.0%	30.1%	34.2%	27.9%
	アパート等	69.5%	70.9%	72.0%	71.5%	72.0%	72.6%	72.4%	71.5%	72.1%	69.9%	69.3%	68.8%	64.3%	70.5%
	その他	0.6%	0.8%	1.0%	2.0%	2.2%	1.4%	1.8%	1.7%	2.2%	2.0%	1.7%	1.2%	1.5%	1.5%
クラブ サークル 団体	加入（大学公認）	52.1%	53.3%	58.0%	60.1%	57.7%	56.3%	56.7%	52.0%	57.0%	51.0%	47.0%	48.0%	46.1%	53.5%
	加入（学外）	4.6%	3.3%	2.0%	3.4%	2.7%	3.8%	3.3%	8.0%	4.0%	3.0%	2.0%	2.0%	2.7%	3.4%
	未加入	43.3%	43.3%	40.0%	36.5%	39.6%	39.9%	40.0%	40.0%	40.0%	46.0%	51.0%	50.0%	51.2%	43.1%
不安・悩み などの相談 先 (複数回答)	友人	51.9%	51.9%	50.0%	48.7%	49.7%	48.9%	50.0%	48.1%	51.4%	48.3%	46.2%	47.5%	48.8%	49.3%
	家族	29.4%	29.9%	30.0%	30.9%	31.6%	33.6%	33.7%	34.3%	19.3%	33.1%	35.5%	36.5%	33.7%	31.7%
	教員	2.9%	1.9%	3.0%	3.1%	2.7%	2.9%	2.1%	3.0%	0.2%	2.4%	4.0%	2.1%	3.0%	2.6%
	学生総合相談窓口	0.2%	0.3%	0.0%	0.2%	0.2%	0.3%	0.5%	0.3%	0.0%	0.1%	0.5%	0.1%	0.4%	0.2%
	保健室	0.3%	0.4%	0.0%	0.8%	0.9%	0.8%	1.0%	0.7%	0.2%	0.6%	0.9%	0.9%	1.3%	0.7%
誰にもしない		15.4%	15.6%	16.0%	16.3%	14.9%	13.6%	12.7%	13.6%	28.9%	15.4%	12.9%	12.9%	12.8%	15.5%

		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	「持にない」 との相関関係
日頃悩んで いること (複数回答) ※上位5項目	就職	45.6%	44.5%	39.8%	39.7%	36.2%	34.9%	37.3%	34.9%	26.6%	36.3%	39.2%	39.3%	35.3%	-0.40
	生活費・お金	42.3%	45.2%	37.4%	34.4%	34.1%	31.6%	30.6%	29.6%	24.1%	29.4%	24.3%	22.9%	30.4%	-0.89
	講義	31.3%	37.0%	30.4%	30.6%	29.3%	30.2%	24.9%	21.4%	19.4%	22.7%	28.1%	25.2%	29.1%	-0.56
	専門分野・進路	40.4%	25.0%	21.1%	21.3%	22.0%	20.8%	22.9%	20.4%	14.9%	20.1%	28.4%	27.9%	29.1%	-0.05
	性格・能力	19.7%	22.4%	18.7%	18.4%	17.2%	19.2%	18.8%	16.6%	11.5%	17.4%	20.5%	16.1%	20.0%	-0.27
特にない		10.2%	10.0%	11.7%	14.6%	18.3%	17.8%	21.6%	20.9%	19.2%	22.5%	28.3%	30.2%	24.9%	－

		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	平均
アルバイト 従事	している	－	－	－	71.5%	67.7%	71.4%	71.4%	73.6%	73.2%	78.0%	66.6%	69.6%	72.1%	71.5%
	していない	－	－	－	28.5%	32.3%	28.6%	28.6%	26.4%	26.8%	22.0%	33.4%	30.4%	27.9%	28.5%
アルバイト 時間	10時間未満	－	－	－	15.6%	15.6%	21.0%	14.8%	16.3%	13.5%	14.2%	23.4%	23.9%	17.8%	17.6%
	20時間未満	－	－	－	55.3%	51.4%	50.7%	56.8%	55.9%	55.0%	57.8%	57.2%	55.9%	59.1%	55.5%
	30時間未満	－	－	－	24.1%	27.1%	23.6%	23.6%	24.1%	24.4%	21.7%	14.9%	14.5%	17.8%	21.6%
	30時間以上	－	－	－	4.9%	5.9%	4.7%	4.8%	3.7%	7.1%	6.4%	4.5%	5.6%	5.4%	5.3%
アルバイト 目的	生活費	－	－	－	60.3%	62.9%	49.4%	59.9%	51.3%	49.6%	47.2%	55.7%	57.3%	54.6%	「生活費」 との相関関係
	娯楽・嗜好品費	－	－	－	24.1%	20.5%	31.1%	26.5%	32.3%	34.2%	37.5%	29.8%	28.4%	32.9%	-0.93
	貯金	－	－	－	6.4%	7.5%	10.7%	9.2%	9.2%	9.2%	8.1%	8.7%	9.4%	9.1%	-0.52
	授業料	－	－	－	7.5%	6.6%	7.6%	3.7%	5.3%	5.5%	5.3%	4.9%	4.3%	3.3%	-0.01
	修学費	－	－	－	1.7%	2.4%	1.2%	0.7%	1.9%	1.4%	1.9%	0.9%	0.7%	0.2%	0.01

※自宅通学者を除く

		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	平均
アルバイト 収入月額	3万円未満	－	－	－	11.0%	12.5%	13.9%	10.5%	9.1%	9.2%	11.0%	14.5%	11.9%	11.9%	11.5%
	5万円未満	－	－	－	29.7%	29.9%	29.9%	30.0%	30.1%	29.0%	25.1%	38.1%	41.6%	34.9%	31.8%
	7万円未満	－	－	－	32.1%	28.1%	31.0%	33.7%	34.2%	33.6%	34.8%	27.6%	27.3%	28.1%	31.1%
	10万円未満	－	－	－	22.8%	24.5%	21.4%	24.2%	22.6%	24.2%	23.5%	17.8%	17.0%	22.0%	22.0%
	15万円未満	－	－	－	3.7%	4.2%	3.7%	1.6%	3.5%	3.6%	4.8%	1.8%	1.8%	2.9%	3.2%
	15万円以上	－	－	－	0.8%	0.8%	0.2%	0.0%	0.5%	0.4%	0.7%	0.2%	0.4%	0.2%	0.4%
家族からの 援助月額	援助なし	－	－	－	26.0%	25.8%	31.2%	20.2%	17.7%	17.7%	17.7%	17.2%	15.7%	15.8%	20.5%
	3万円未満	－	－	－	21.7%	21.1%	24.3%	22.7%	23.3%	23.3%	23.3%	21.1%	23.1%	19.8%	22.4%
	5万円未満	－	－	－	27.6%	29.3%	24.1%	30.9%	32.4%	32.4%	32.4%	34.3%	30.5%	34.3%	30.8%
	7万円未満	－	－	－	13.8%	12.9%	10.7%	14.9%	13.2%	13.2%	13.2%	14.2%	13.7%	12.8%	13.3%
	10万円未満	－	－	－	8.4%	8.7%	7.7%	9.1%	10.7%	10.7%	10.7%	9.8%	13.7%	12.3%	10.2%
	13万円未満	－	－	－	1.6%	1.6%	1.3%	2.2%	1.5%	1.5%	1.5%	2.7%	2.3%	3.4%	2.0%
	15万円未満	－	－	－	0.4%	0.1%	0.3%	0.1%	0.9%	0.9%	0.9%	0.3%	0.8%	1.2%	0.6%
	15万円以上	－	－	－	0.4%	0.3%	0.4%	0.0%	0.3%	0.3%	0.3%	0.5%	0.2%	0.5%	0.3%

※自宅通学者を除く。



前橋市の財政状況（歳出 10款：教育費、10項：大学費）

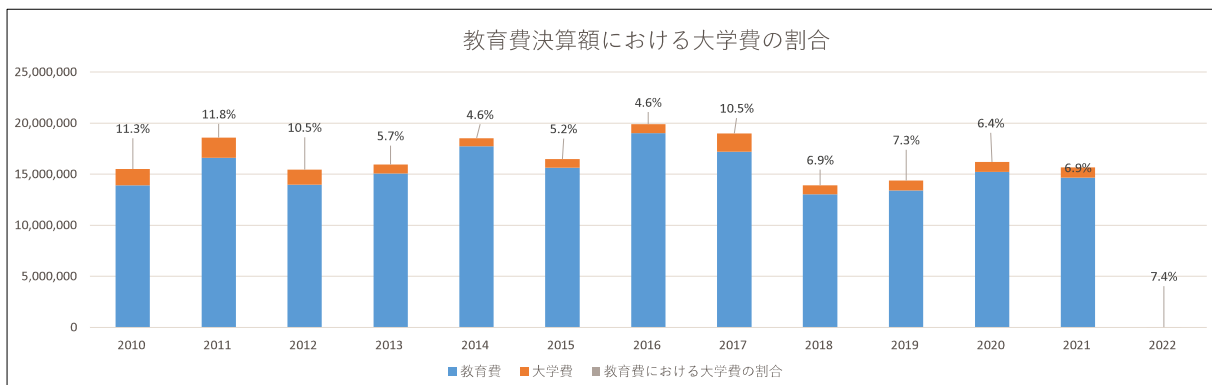
《ポイント》

- ①2013年度の法人化後、大学費は、主に施設整備費及び運営費交付金で構成される。
- ②法人化前は、歳入歳出ともに、全て市の執行予算であったものが、法人化後、運営費交付金と市が執行する施設整備費のみの支出となり、学生納付金等の収入が直接大学の収入となったため、支出額としてはその分が減少している。
- ③大学費は、施設整備費に係る影響が大きく、2017年度は、実験棟2の改築のため、増となっている。

教育費決算額における大学費の割合

単位：千円

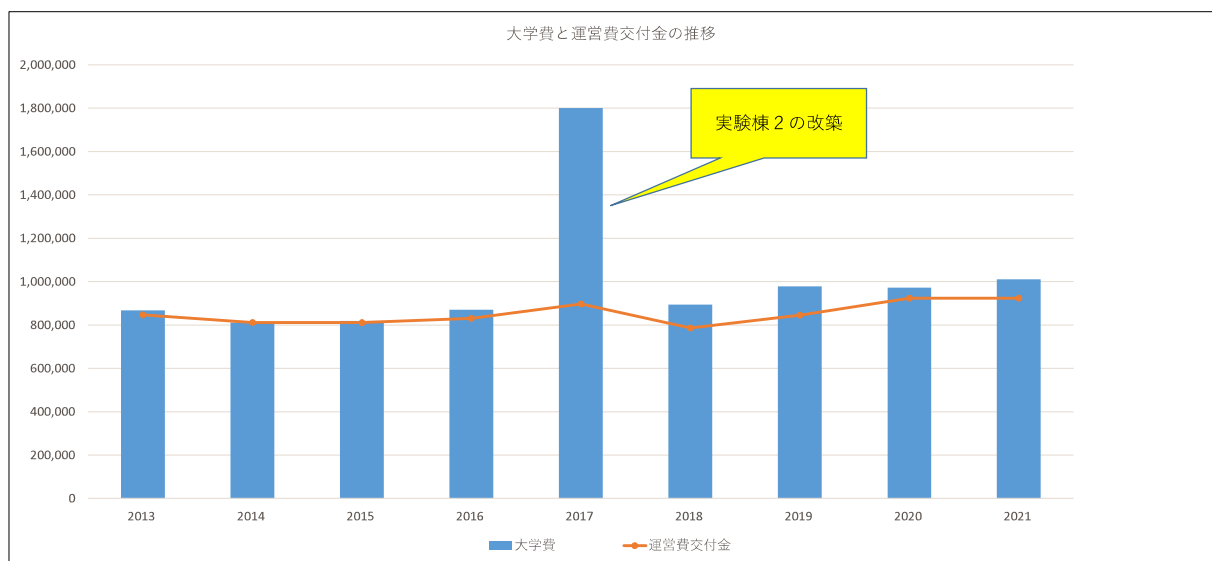
	法人化3年前 2010	法人化2年前 2011	法人化1年前 2012	法人化 2013	法人化2年目 2014	法人化3年目 2015	法人化4年目 2016	法人化5年目 2017	法人化6年目 2018	法人化7年目 2019	法人化8年目 2020	法人化9年目 2021	法人化9年目 2022	法人化前 平均	法人化後 平均
教育費	13,916,964	16,620,232	13,966,126	15,082,715	17,720,065	15,645,496	19,024,873	17,187,747	13,019,322	13,387,370	15,223,091	14,658,088	14,058,845	14,834,441	14,096,283
大学費	1,576,718	1,954,249	1,465,857	867,000	811,836	818,792	869,849	1,799,544	894,293	977,928	972,595	1,009,854	1,045,435	1,665,608	902,274
教育費における大学費の割合	11.3%	11.8%	10.5%	5.7%	4.6%	5.2%	4.6%	10.5%	6.9%	7.3%	6.4%	6.9%	7.4%	11.2%	6.4%



大学費における運営費交付金の割合

単位：千円

	法人化 2013	法人化2年目 2014	法人化3年目 2015	法人化4年目 2016	法人化5年目 2017	法人化6年目 2018	法人化7年目 2019	法人化8年目 2020	法人化9年目 2021	法人化後 平均
大学費	867,000	811,836	818,792	869,849	1,799,544	894,293	977,928	972,595	1,009,854	1,002,410
運営費交付金	846,206	811,725	810,718	830,857	897,231	785,788	845,395	923,297	922,729	852,661
施設整備費	2,573	0	7,948	38,514	902,212	108,351	132,406	48,070	85,316	147,266
大学費における運営費の割合	97.6%	100.0%	99.0%	95.5%	49.9%	87.9%	86.4%	94.9%	91.4%	85.1%





前橋市の財政状況（歳入 Ⅱ款：地方交付税）

《ポイント》

地方交付税とは、地方公共団体の財源不足や団体間の財政不均衡を是正し、その事務を遂行できるよう国から地方公共団体に交付される資金。国税収入から一定の比率で交付され、用途の制限はない。

地方交付税の内訳は、94%相当額が普通交付税、6%相当額が特別交付税である。普通交付税は、基準財政需要額や基準財政収入額など客観的基準を特に重視して算定されるが、特別交付税は、普通交付税の機能を補完し、具体的な事情を考慮して交付される。

合併算定替とは、合併したことにより普通交付税が直ちに減少することは、合併の阻害要因となることから、合併後一定期間は、旧市町村が存続したものとみなして普通交付税を算定するものである。

前橋市の地方交付税の交付額は、合併算定替による増額期間が終了し、2020年度決算では大幅に減少した。一般会計歳入決算額のうち、地方交付税が占める割合についても、2015年度までは10%台であったが、近年は、10%以下である。

【地方交付税決算額】

(単位：千円)

	法人化3年前 2010	法人化2年前 大学院前期改組 2011	法人化1年前 2012	法人化 大学院後期改組 2013	法人化2年目 2014	法人化3年目 2015	法人化4年目 2016	法人化5年目 2017	法人化6年目 2018	法人化7年目 2019	法人化8年目 2020	法人化9年目 2021	法人化10年目 2022
地方交付税 (A)	16,809,164	16,549,952	17,134,892	17,005,696	16,438,461	15,820,159	14,080,518	13,168,968	12,069,904	12,783,156	11,655,342	14,862,698	13,992,643
うち普通交付税	15,558,572	15,228,970	15,871,718	15,727,312	14,994,992	14,568,170	12,939,244	12,194,741	11,122,947	11,760,878	10,705,176	13,844,345	12,939,127
うち特別交付税	1,250,592	1,291,929	1,262,909	1,278,186	1,443,333	1,251,842	1,141,022	973,947	946,725	1,022,026	950,029	1,018,223	1,046,733
うち震災復興特別交付税	—	—	—	—	136	147	252	280	232	252	137	130	6,783
一般会計歳入決算額 (B)	137,764,207	140,474,341	135,479,848	141,270,120	143,882,689	144,370,325	143,332,523	143,053,474	137,885,857	142,130,910	192,153,186	166,603,895	161,922,031
決算額のうち地方交付税の占める割合 (A) / (B)	12.2	11.8	12.6	12.0	11.4	11.0	9.8	9.2	8.8	9.0	6.1	8.9	8.6



「私立大学の公立化」に関するデータ分析

《ポイント》

2009年に高知工科大学が公立大学に移行して以来、2010年には静岡文化芸術大学、名城大学と続き、現在までに全国11校の私立大学が公立大学へと移行している。

こうした動向は、私大の延命化と捉えられる向きもあるが、「公立大学法人」制度を活用した地方私大の公立化は、大学の持つ地域資源としてのポテンシャルに地域活性化の機縁を見出そうとする高度な政策判断であり、公立大学化へのプロセスの複雑さも踏まえ、どの自治体でも気軽に取り組むことができる手法ではない。

後述されるデータにも現れているとおり、公立大学移行初年度の入学志願者倍率は、全ての大学で公立化前の倍率を大きく上回っている。また、公立化の決定が発表されたタイミングによっては、公立化前年の入学志願者倍率も上昇傾向にある。

公立大学のブランドイメージは、地域外入学者の増加に繋がり、若年人口流入の誘い水となる。他方、地域内就職率は大局的にはほぼ横ばいで低位に推移している。地域内就職率は課題ではあるものの、急激に悪化するなどの大きな変化は出ていない。むしろ、外部からの学生の獲得という意味での競争力は強化されるというメリットが上回っている。

18歳人口急減の時代に対応し、地域の大学を知の集積の拠点として存続させることは、長期的には地域に対して修学機会を担保することに繋がる。また、公立化することで設立団体に対しては、学生数に応じた地方交付税が増額され、設立団体はその交付税から大学に運営費交付金を支給する。安定財源の構造化により、公立大学では授業料の低廉化が可能となり、厳しさを増す経済情勢の中で、学生を含む保護者の家計に対する修学支援の提供にもなり、最終的には地域から大学が消滅することを防ぐことに繋がる。

各設立団体の財政状況は、公立大学設置後も健全性が十分に保たれていると判断するに足る状況である。

【入学志願倍率】

入学志願倍率は、「公立化1年前」と「公立化初年度」に急増する傾向があり、その後も上昇傾向である。各大学の現在と公立化2年前の入学志願者倍率の伸び率を見ると、最大で7.9倍の伸びがあり、平均で3.7倍ほど入学志願者倍率が増えている。

		「公立化1年前」と「公立化初年度」は、入学志願者倍率が急増する傾向あり																
入学志願者倍率		公立化 2年前	公立化 1年前	公立化 初年度	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目	現在と公立 化2年前の 伸び率
1	高知工科大学	1.7	1.6	12.6	7.0	5.7	5.1	4.3	5.7	5.2	4.8	4.9	5.2	5.0	5.6	4.6	5.4	3.2
2	静岡文化芸術大学	7.0	8.7	11.9	8.6	6.0	6.3	6.0	5.3	6.5	6.2	6.0	5.8	5.2	4.8	5.9		0.8
3	名城大学	1.3	1.2	2.7	4.7	5.2	3.5	3.8	3.9	3.7	3.7	3.7	4.1	4.1	4.1	2.9		2.2
4	公立鳥取環境大学	1.0	1.7	10.0	3.6	8.1	5.6	6.2	4.6	6.1	6.0	4.9	4.5	4.2				4.2
5	長岡造形大学	1.0	1.8	5.7	4.7	4.5	5.5	4.7	5.1	5.6	5.6	5.0						5.0
6	福知山公立大学	0.7	1.5	33.4	7.7	6.3	5.5	3.7	3.1	5.5								7.9
7	山陽小野田市立 山口東京理科大学	1.8	7.4	23.0	9.0	12.2	8.3	10.0	7.3	8.6								4.8
8	長野大学	1.9	2.4	10.0	5.8	6.3	5.0	5.3	5.0									2.6
9	公立諏訪東京理科大学	2.8	5.3	7.9	5.0	10.4	6.8	7.5										2.7
10	公立千歳科学技術大学	2.2	5.0	10.9	3.7	5.2	5.4											2.5
11	周南公立大学	1.7	1.2	7.7														4.5
平均																		3.7

「公立化1年前」と「公立化初年度」は、入学志願者倍率が急増する傾向あり

10年目から入学定員を増員している。

出典：文部科学省「私立大学の公立化に際しての経済上の影響分析及び公立化効果の『見える化』に関するデータ」

出典：文部科学省「私立大学の公立化に際しての経済上の影響分析及び公立化効果の「見える化」に関するデータ」

【地域内入学者率】

地域内入学者率は、「公立化初年度」と「公立化2年目」に減少する傾向がある（全国から学生が集まるという面もあり）。各大学の現在と公立化2年前の地域内入学者率を比較すると、ほとんどの大学が半減しており、公立大学でありながら、地元出身の学生の比率が私立大学時代よりも下がることは、地域住民の理解が得られ難く課題である。

		「公立化初年度」と「公立化2年目」は、地域内入学者率が減少する傾向あり														(単位：%)	
地域内入学者率		公立化2年前	公立化1年前	公立化初年度	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目
1	高知工科大学	50.5	52.3	33.0	25.6	26.0	26.4	28.5	25.6	27.6	24.8	24.9	29.4	30.9	27.8	26.2	25.6
2	静岡文化芸術大学	85.2	79.8	69.4	43.9	43.5	43.6	45.5	45.1	43.3	44.0	39.7	36.8	36.8	40.5	41.0	
3	名城大学	22.2	18.8	24.1	17.2	14.3	13.2	17.6	16.0	13.7	14.2	16.1	12.1	13.4	14.2	15.8	
4	公立鳥取環境大学	66.4	43.5	23.6	21.7	12.0	18.9	14.1	14.7	14.8	15.7	16.0	21.3	22.6			
5	長岡造形大学	12.9	8.4	5.7	6.6	4.9	8.6	5.1	5.1	6.2	5.9	7.9					
6	福知山公立大学	14.7	16.7	8.6	2.7	0.8	1.5	1.9	2.0	1.4							
7	山陽小野田市立山口東京理科大学	2.4	1.9	3.2	1.5	4.2	3.8	4.8	3.6								
8	長野大学	15.5	13.4	10.5	5.8	5.8	7.6	8.5	9.8								
9	公立諏訪東京理科大学	6.2	4.1	4.1	4.2	3.1	3.7	1.9									
10	公立千歳科学技術大学	5.2	4.0	2.8	1.5	2.2	2.3										
11	周南公立大学	4.1	3.8	5.0													

2018年 データサイエンス学部設置（県内初）

県内初の学部設置により、地域内入学者率の増加に寄与している。

2018年 薬学部設置（県内初）

出典：文部科学省「私立大学の公立化に際しての経済上の影響分析及び公立化効果の「見える化」に関するデータ」



「私立大学の公立化」に関するデータ分析

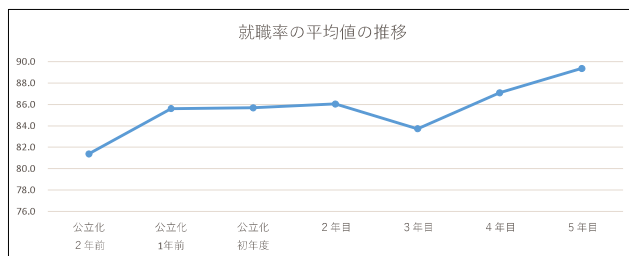
【就職率】

就職率は、公立化により上昇傾向にある。法人化5年目で区切って見ると、就職率の平均値は、8%増加しており、公立化2年前と比較すると最大37%、平均で11%増加している。

(単位：%)

就職率	公立化 2年前	公立化 1年前	公立化 初年度	2年目	3年目	4年目	5年目	現在と公立化2 年前の伸び率
1 高知工科大学	95.4	94.7	83.7	80.7	83.6	86.0	91.0	-5%
2 静岡文化芸術大学	84.9	81.4	79.4	72.8	80.9	85.7	84.7	0%
3 名城大学	57.8	58.7	68.1	67.8	69.0	67.8	73.5	27%
4 公立鳥取環境大学	68.1	77.8	81.7	83.5	82.3	89.9	90.9	33%
5 長岡造形大学	65.7	72.2	79.3	84.9	86.5	85.6	90.0	37%
6 福知山公立大学	79.4	97.7	100.0	100.0	67.9	94.8	95.1	20%
7 山陽小野田市立 山口東京理科大学	93.7	88.2	93.1	90.9	94.0	94.2	93.5	0%
8 長野大学	84.7	89.1	91.0	91.4	93.5	89.9	96.2	14%
9 公立諏訪東京理科大学	88.5	94.7	86.8	91.8	89.8	89.9		2%
10 公立千歳科学技術大学	91.6	95.6	93.8	96.7	89.8			-2%
11 周南公立大学	85.5	91.6						-7%
平均値	81.4	85.6	85.7	86.1	83.7	87.1	89.4	11%

出典：文部科学省「私立大学の公立化に際しての経済上の影響分析及び公立化効果の「見える化」に関するデータ」



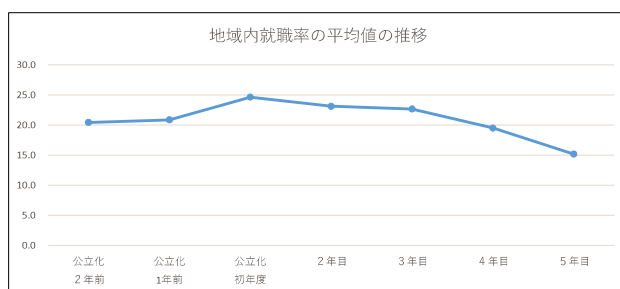
【地域内就職率】

地域内就職率については、低位で推移している。数値が極端に悪化した大学もあれば、上昇した大学もある。各大学の現在と公立化2年前の地域内入学者率を比較すると、平均で14%減少している。

(単位：%)

地域内就職率	地域内	公立化 2年前	公立化 1年前	公立化 初年度	2年目	3年目	4年目	5年目	現在と公立化2 年前の伸び率
1 高知工科大学	県内	13.6	15.1	26.0	23.3	37.6	19.6	17.4	28%
2 静岡文化芸術大学	県内	72.7	68.1	73.0	72.9	69.0	63.1	39.4	-46%
3 名城大学	県内	-	-	-	-	-	19.2	10.4	-46%
4 公立鳥取環境大学	県内	39.8	46.9	43.7	39.6	31.3	21.0	22.1	-44%
5 長岡造形大学	市内	16.2	16.2	15.7	11.9	10.8	8.9	6.8	-58%
6 福知山公立大学	市内	3.7	7.1	15.4	13.0	21.1	9.1	8.1	119%
7 山陽小野田市立 山口東京理科大学	市内	10.1	1.0	5.3	6.0	6.4	10.1	5.4	-47%
8 長野大学	県内	13.5	17.6	18.2	18.6	14.5	14.8	11.7	-13%
9 公立諏訪東京理科大学	市内	17.1	18.8	22.8	19.2	10.9	9.7		-43%
10 公立千歳科学技術大学	市内	2.5	0.8	1.5	3.4	2.2			-12%
11 周南公立大学	市内	15.0	17.0						13%
平均値		20.4	20.9	24.6	23.1	22.6	19.5	15.2	-14%

出典：文部科学省「私立大学の公立化に際しての経済上の影響分析及び公立化効果の「見える化」に関するデータ」





「私立大学の公立化」に関するデータ分析

【自己収入率】

自己収入率は、公立化により急減し、その後減少傾向にある。各大学の現在と公立化2年前の自己収入率を比較すると、下落率は、最大で60%、平均で40%となっている。これは、授業料収入等の低廉化が主因と考えられる。

(単位：%)

自己収入率	公立化 2年前	公立化 1年前	公立化 初年度	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	下落率
1 高知工科大学	76.9	76.5	49.9	47.2	54.7	42.6	42.2	42.6	32.3	34.5	34.6	37.7	37.2	34.1	36.9	-52%
2 静岡文化芸術大学	55.8	58.3	42.8	38.4	36.9	37.3	37.7	38.0	37.8	38.5	38.3	38.5	37.0	36.6		-34%
3 名桜大学	91.8	91.3	44.1	39.1	39.8	41.4	38.0	33.9	38.6	41.1	40.6	41.5	35.1	36.4		-60%
4 公立鳥取環境大学	80.1	86.3	45.3	47.2	46.0	47.2	45.2	45.4	46.2	44.5	45.8	47.1				-41%
5 長岡造形大学	91.3	92.9	53.4	49.4	41.6	44.7	42.8	42.0	42.9	42.4						-54%
6 福岡山公立大学	83.3	71.4	35.6	39.4	46.9	56.3	48.9	54.8								-34%
7 山陽小野田市立 山口東京理科大学	83.2	94.2	59.5	32.2	34.8	36.4	39.1	40.7								-51%
8 長野大学	92.3	90.8	79.0	78.2	79.9	81.3	80.6									-13%
9 公立諏訪東京理科大学	90.4	92.9	42.5	37.2	30.5	36.5										-60%
10 公立千歳科学技術大学	86.7	90.6	50.5	55.0	54.5											-37%
11 周南公立大学	86.5	87.2														1%
平均値	83.5	84.8	50.3	46.3	46.6	47.1	46.8	42.5	39.6	40.2	39.8	41.2	36.4	35.7	36.9	-40%

出典：文部科学省「私立大学の公立化に際しての経済上の影響分析及び公立化効果の「見える化」に関するデータ」

地方公共団体における健全化判断比率等の状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（平成19年法律第94号。以下「地方公共団体財政健全化法」という。）に基づき、健全化判断比率（＊）又は資金不足比率（＊）が、早期健全化基準、財政再生基準又は経営健全化基準以上となった場合には、これらの健全化判断比率等を公表した年度の末日までに、財政健全化計画、財政再生計画又は経営健全化計画を定めなければならないこととされている。

いずれの引受け自治体も赤字額は発生しておらず、実質公債費比率、将来負担比率ともに早期健全化基準からも程遠い健全な状態。このことから私立大学の公立化が地方自治体の財政にネガティブな影響を与える可能性は少なく、与えたとしてもごく限定的であると考えられる。

【健全化判断比率】

●実質赤字比率

地方公共団体の最も主要な会計である「一般会計」等に生じている赤字の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したもの

●連結実質赤字比率

公立病院や下水道など公営企業を含む「地方公共団体の全会計」に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したもの

●実質公債費比率

地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したもの

●将来負担比率

地方公共団体の借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したもの

●実質公債費比率

地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したもの

●将来負担比率

地方公共団体の借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したもの



おわりに（経営指標）

1 公立大学としての経営指標

私立大学の約50%が定員割れするなど、少子化に伴う大学経営は、厳しい局面を迎えている。この厳しい状況下で大学が生き残るためにも、持続可能な経営が求められている。

一方で、公立大学法人は、授業料等の学生納付金のほか、地方自治体から交付される運営費交付金等により運営を行い、利益の獲得だけを目的としない公共的な性格を有している。したがって、私立大学で用いられるような財務指標（経常収支差額比率、減価償却額補正後の経常収支差額比率及び運用資産の額）では、大学の経営状況が見極められない側面がある。

さらに、公立大学においても、附属病院の有無、施設整備主体等、性質が様々であり、一般的な指標ではなく、本学独自の指標が必要である。このため、本データ白書を多角的に分析するとともに、本学としての重要経営指標を次のとおり整理し、これらの指標の推移を特に注視することで、今後も引き続き、持続可能な大学運営に努めていくものとする。

なお、急激な人口減少を例に、予測不能な社会となり、時代に即した経営判断を行うためにも、本データ白書を継続的に更新し、経営指標は、引き続き検討を行う。

2 具体的な経営指標

指標	指標目安	説明	関連ページ
目的積立金 残高	2億円～ 3億円	基準財政需要額×10% 一般的に市町村の財政調整基金は、標準財政規模の10%～20%が適正と言われており、総務省が平成29年度に行った全国調査でも、財政調整基金の積立ての考え方について「標準財政規模の一定割合とする」とした市町村のうち、「標準財政規模の5%超～20%以下」とする回答が最も多かった。このことに鑑み、前橋市を設立団体とする本学における目的積立金残高の指標目安についても、基準財政需要額の10%とする。	P31 P65
志願者数	1,300人	2010年からの志願者数の平均値 入学定員充足率は、大学の適正規模や入学金等の確保状況、ひいては、大学の存在意義等を計る上で重要な数字である。本学の2010年度からの入学定員充足率の平均は、110%であり、公立大学全体における入学定員充足率の平均値より若干高く、現状の学納金を維持するためにも目標としたい数値である。そこで、現状の入学定員を維持するため、オープンキャンパス等の広報活動が成果として直結する志願者数を指標として定める。 指標目安の1,300人を維持するためには、2022年の本学の志願者数1,341人が全国志願者数に占める割合である「0.208%」を維持していく必要がある（P6参照）。	P5 P6 P7 P11 P12 P13
共同研究数	30件	公募型共同研究終了後(2017年度以降)の共同研究数の平均値 2012年度から2016年度まで、公募型共同研究に係る研究費の2/3を前橋市が補助金として負担した。このことを契機として、地域と連携した共同研究が増加し、当該補助の終了後も共同研究の件数が同水準を維持していることから、2017年度以後の共同研究の件数の平均値を指標目安とする。 また、科学研究費の採択件数も、研究力を計る上で重要なデータである。本学は、類似大学13校と比較すると、教員1人当たりの採択件数が相対的に低い。2023年度には、新たに研究センターを設置し、研究を更に推進していくこととしていることから、科学研究費の採択件数についても、補完的に注視していくものとする。	P38 P39 P40
標準修業年限内卒業率	80%	2010年からの平均値 教育の質を保証し、技術者としての高度専門人材を社会に輩出することも、公立大学としての重要な責務である。そのためには、教育の厳格化及び弾力性のバランスを保つことが大学運営において求められる。教育の厳格化として、2015年度に卒研着手要件の見直し等を行っており、こうした運営を背景に、就職率等、一定の水準を維持している。このような視点において、本学の水準を計る指標として、標準修業年限内卒業率を注視するものとする。 今後、多様な入試制度の導入が予想される中で、入試区分別の成績状況（P47）は、学生の動向を確認する上での重要な指標である。成績状況が一定の水準を保っていれば、学生に対する教育の質も確保することができると考えられることから、こちらについても標準修業年限内卒業率と併せて注視していくものとする。	P23 P47

3 指標に基づく経営状況

区分	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	平均
目的積立金残高（円）		46,363,108	143,488,672	235,497,290	261,545,163	264,740,291	235,519,446	307,285,187	285,894,054	371,285,862	239,068,786
志願者数（人）	1,861	1,987	1,548	1,752	1,747	1,467	1,639	1,544	1,135	1,018	1,570
共同研究数	20	30	46	41	32	25	28	33	30	47	33
標準修業年限内 卒業率（％）	84.00	82.60	77.20	79.20	80.70	79.70	84.30	-	-	-	81.10

4 その他

前橋工科大学では、建物が設立団体である前橋市の所有である。また、大学が所有する土地も、処分する場合には、設立団体の承認が必要な上、市街化調整区域に属しており、実質的に現金化できないものとなっている。

出資母体としてはもちろんであるが、経営指標として目的積立金の残高を定める上で、前述の実情からも前橋市の財務状況を把握しておくことは重要である。そこで、前橋市の財政調整基金残高及び市債残高を補完的に注視する。

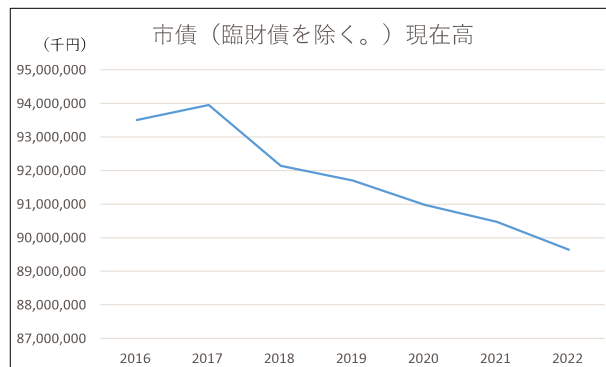
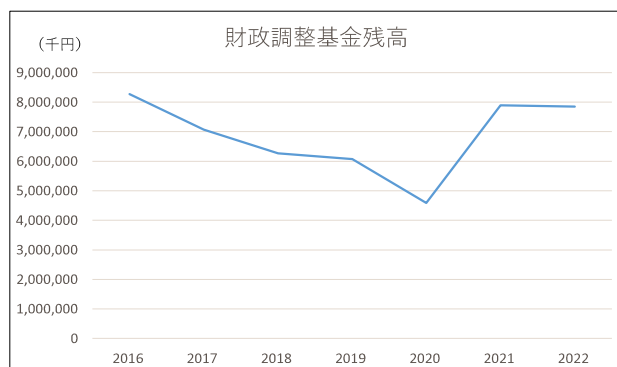
《ポイント》

財政調整基金とは、自治体における年度間の財源の不均衡を調整するための積立金である。財源に余裕のある年度に積立てを行い、大規模災害の発生や大幅な税收減などがある年度に取崩しを行う。年度ごとの増減はあるが、2016年度以降の平均値を見ると60億円以上の基金を維持できている。

市債とは、市が国や銀行から借りる資金を調達する借入金で、建設事業などに使われる。市債は、毎年発行することで、財政負担を平準化し、市民との負担の公平化を図ることで、将来の市民の負担を公平にするものである。市債の現在高は、2017年度以降、減少傾向が続いている。

（単位：千円）

区分	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	平均
財政調整基金残高	8,269,593	7,071,272	6,271,103	6,068,463	4,585,827	7,895,390	7,851,706	6,859,051
市債（臨財債を除く。）現在高	93,505,271	93,957,793	92,141,147	91,702,712	90,977,967	90,476,420	89,642,144	91,771,922



令和5年度前橋工科大学 主な広報活動実施状況

1 大学公式ホームページ

(1) ページビュー

年月	PV	年月	PV
4月	112,517	10月	105,216
5月	95,000	11月	102,694
6月	107,971	12月	94,835
7月	133,817	1月	162,375
8月	86,645	2月	110,691
9月	93,325	3月	126,129

(2) ページ別ランキング (2023.4~2024.3)

	ページ名	PV	ユーザー数
1	前橋工科大学	468,287	287,825
2	大学入試要項 - 前橋工科大学	62,367	31,221
3	オープンキャンパス2023	23,289	17,498
4	受験生の方 - 前橋工科大学	22,611	13,752
5	2024年度一般選抜出願状況	17,450	9,678
6	主な就職先・大学院進学先 - 就職情報・キャリアセンター	17,063	12,900
7	入試結果 - 前橋工科大学	16,871	9,068
8	交通アクセス - 前橋工科大学	16,158	12,453
9	年間予定表(学年歴) - 前橋工科大学	15,053	10,821
10	入学料・授業料 - 前橋工科大学	11,155	8,164
11	過去の入試問題 - 前橋工科大学	10,463	5,892
12	大学入試日程 - 前橋工科大学	10,133	6,600
13	施設案内 - 前橋工科大学	7,909	6,244
14	在学生へ ~先輩からのためになる一言~ - 就職情報・キャリアセンター	6,455	5,768
15	大学の特色 - 前橋工科大学	6,224	4,602
16	前橋工科大学 インターネット出願ガイド - 前橋工科大学	6,195	2,560
17	第24回「翌檜祭」を開催します - 前橋工科大学	6,028	3,617
18	大学院入試要項 - 前橋工科大学大学院	6,013	4,094
19	過去問題について - 前橋工科大学	5,875	4,199
20	部活動・サークル・同好会 - 前橋工科大学	5,471	4,417

※インデックスページは除外

※オープンキャンパス及び一般選抜出願状況は、更新日ごとに計上されていたものを合算した数字。

(参考)

ページ名	PV	ユーザー数
2024大学案内パンフレット	4,453	3,595

2 SNS

(1) 公式 Instagram

掲載月	掲載件数	掲載月	掲載件数
4月	8	10月	12
5月	10	11月	13
6月	9	12月	17
7月	13	1月	8
8月	16	2月	7
9月	14	3月	7

合計：134件

(2) 入試広報 LINE

月	件数	月	件数
4月	—	10月	45
5月	4	11月	30
6月	4	12月	24
7月	25	1月	32
8月	20	2月	29
9月	28	3月	23

合計：264件

(3) X (旧 twitter)

50件

3 新聞・進学情報誌等

掲載月	種類	掲載誌等
4月	新聞広告	・大学ロゴマーク掲載 (G7 関連特集_上毛新聞)
5月	記事広告	・進路のミカタ for teachers (マイナビ進学)
6月	記事広告	・SELF BRAND (フロムページ) ・保護者のための大学進学ガイド (ライオン企画)
	新聞広告	・みんなの進路オープンキャンパス 2023 (上毛新聞)
10月	新聞広告	・長野県民新聞高校生版 2024
11月	新聞広告	・進学特集 2024 (読売新聞)
1月	新聞広告	・大学入学共通テスト解答掲載に併せた全面広告 (産経新聞東海北陸版)

4 進学情報サイトへの大学情報掲載

- ・マイナビ進学 : <https://shingaku.mynavi.jp/gakkou/2144/>
- ・コレカラ進路.jp : <https://korekarashinro.jp/school/MAEBASHIIT>
- ・UCARO : [https://www.ucaro.net/universitylist/contents/\\$N/203007A](https://www.ucaro.net/universitylist/contents/$N/203007A)

5 出張講義・大学訪問・大学説明会

別紙のとおり

6 大学パンフレットのＪＲ駅配架

月	前橋駅	高崎駅
4月	10	11
5月	29	59
6月	62	72
7月	45	86
8月	48	40
9月	22	58
10月	22	66
11月	28	49
12月	27	35
1月	10	36
2月	28	74
3月	47	49
合計	378	635

7 大学行事等

名称	実施日	参加者数等			
高校教員等対象説明会	6/28	38校(対面:22、オンライン:16)			
オープンキャンパス	8/10,11		10日	11日	合計
		本人	395	535	930
		同伴者	239	529	788
		合計	634	1,013	1,647
夢ナビ LIVE2023 秋	10/21,22	・夢ナビ講義動画 蒔田先生 : 483 人			

		宮川先生：61人 ・夢ナビ講義 研究室訪問 宮川先生：51人 蒔田先生：22人 ・説明会(事務局):12人
オンライン個別相談会	9～10月毎火曜	14人

8 大学パンフレット等の高校送付

- ・大学パンフレット 2,527校
- ・大学案内概要版 2,740校
- ・一般選抜学生募集要項 824校
- ・学校推薦型学生募集要項 344校
- ・総合型学生募集要項 195校

9 出願者数の推移

区分 年度	特別選抜												一般選抜				合計
	総合型選抜						学校推薦型選抜						前期日程		中期日程		
	合計						合計						合計		合計		
	土 木	建 築	デ ザ	情 報	医 工	生 物	土 木	建 築	デ ザ	情 報	医 工	生 物	建 築	情 報	建 築	情 報	
2024	58						100						508		727		1393
	3	10	10	18	9	8	12	32	13	18	8	17	265	243	322	405	
2023	34						100						695		506		1335
	9	42	15	15	11	8	6	10	3	8	3	4	291	404	235	271	
2022	20						84						441		461		1006
	4	9	2	1	1	3	12	31	9	13	10	9	231	210	227	234	

1 出張講義：23回

No.	実施日	学校名	対応教員	テーマ
1	6月16日	栃木県立佐野東高等学校	駒田教授	建築をデザインすること
2	6月30日	茨城県立鉾田高等学校	森准教授	将来の自分のやりたいこと・進路は、どうやって決めたら良いの？
3	7月10日	東京農大第二高等学校	駒田教授	建築をデザインすること
4	7月10日	東京農大第二高等学校	本多教授	植物ホルモンのはたらきとその利用
5	7月12日	上野学園高等学校	若松教授	空間と光
6	9月13日	群馬県立前橋西高校	白井講師	前前世から学ぶ空間デザインの仕事
7	9月14日	栃木県立佐野東高等学校	尾形教授	お酒を作る微生物酵母の力
8	9月14日	栃木県立佐野東高等学校	森准教授	将来の自分のやりたいこと・進路はどうやって
9	10月4日	東京都立小松川高等学校	江本教授	電気自動車のデザイン
10	10月19日	群馬県立富岡高等学校	佐川准教授	超身近な実はエコで・・・
11	10月20日	東京都立墨田川高等学校	若松教授	建築の空間と光
12	10月25日	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	堤准教授	伊勢市のまちおこしについて
13	10月25日	埼玉県立川口北高等学校	宮川准教授	見えない力を見る技術
14	10月26日	群馬県立高崎東高等学校	田所准教授	クリエイティブコーディング入門
15	10月26日	群馬県立沼田女子高校	駒田教授	建築をデザインすること
16	11月1日	静岡県立静岡城北高等学校	駒田教授	建築をデザインすること
17	11月7日	東京都立科学技術高等学校	三河教授	安全なパスワードの作り方
18	11月10日	茨城県立下妻第一高等学校	梅津准教授	水や空気の流れの不思議
19	11月16日	群馬県立前橋育英高等学校	山下教授	遺伝子を調べてがんを治す
20	11月20日	高崎健康福祉大学高崎高校	土倉教授	液状化のおもちゃ"エッキー"をもとにした土木工学の紹介
21	12月5日	群馬県立沼田高校	舌間准教授	日頃使っているコンクリートの建物はどのくらい長持ちする
22	12月12日	群馬県立渋川女子高校	松本教授	音とスマホの秘密の話
23	12月21日	高崎市立高経大附属高等学校	中村教授	生物の進化を考える

2 大学訪問の受入：18校

No.	実施日	学校名	学年	人数	内容
1	4月25日(火)	長野県岩村田高等学校	2	30	大学説明、キャンパス
2	6月12日(月)	東京学館新潟高等学校	2	30	大学説明、キャンパス、学食
3	6月13日(火)	栃木県立上三川高等学校	2	40	大学説明、キャンパス、在学生
4	6月21日(水)	青森県立八戸東高等学校	教諭	2	大学説明、入試説明、キャンパス見学
5	6月27日(火)	青森県立田名部高等学校	教諭	2	大学説明、キャンパス
6	6月29日(木)	茨城県立藤代高等学校	2	40	大学説明、キャンパス、在学生、学食
7	9月19日(火)	北越高等学校	1	42	大学説明、キャンパス、在学生、学食、模擬講義
8	9月22日(金)	栃木県立佐野東高等学校	2	35	大学説明、キャンパス、在学生、学食、模擬講義
9	9月25日(月)	北越高等学校	1	42	大学説明、キャンパス、在学生、学食、模擬講義
10	9月28日(木)	市立前橋高校	1	41	大学説明、キャンパス
11	9月29日(金)	長野県上田東高等学校	1	41	大学説明、キャンパス、在学生
12	10月4日(水)	埼玉県立本庄高校	1	5	大学説明、キャンパス、学食
13	10月13日(金)	栃木県立今市高等学校	1	30	大学説明、キャンパス、学食
14	10月17日(火)	富山県立滑川高校	2	34	大学説明、キャンパス、学食、模擬講義
15	10月30日(月)	茨城県立日立北高等学校	1	42	大学説明、キャンパス、在学生
16	11月18日(土)	高崎市立高崎経済大学附属高校	保護者	30	大学説明、キャンパス
17	11月24日(金)	群馬県立渋川青翠高等学校	1	35	キャンパス見学、学食
18	12月5日(火)、7日(木)	群馬県立前橋南高校	2	48	研究室見学

3 進学説明会：69回

No.	実施日	内容	高校・会場	ブース来場者数等
1	4月12日(水)	説明会（会場）	高崎健康福祉大学高崎高校	6
2	4月14日(金)	説明会（会場）	高崎商科大学附属高校	8
3	4月17日(月)	説明会（会場）	ビエント高崎	33
4	4月20日(木)	説明会（オンライン）	箕面自由学園高校	9
5	4月22日(土)	資料配布	埼玉栄高校	—
6	4月26日(水)	説明会（高校）	川口北高校	43
7	4月26日(水)	資料配布	キッセイ文化ホール 松本美須ヶ丘高校	—
8	4月28日(金)	説明会（高校）	明和県央高校	7
9	4月28日(金)	資料配布	ビッグハット	—
10	5月2日(火)	説明会（会場）	ツインメッセ静岡	16（内教員3）
11	5月8日(月)	説明会（高校）	大田原女子高校	4
12	5月15日(月)	説明会（会場）	春日部共栄高校	1
13	5月17日(水)	説明会（オンライン）	由利高校	2
14	5月19日(金)	説明会（高校）	桐生第一高校	8
15	5月21日(日)	説明会（会場）	朱鷺メッセ	6
16	5月21日(日)	資料配布	ツインメッセ静岡	—
17	5月24日(水)	説明会（高校）	本庄第一高校	6
18	5月28日(日)	説明会（会場）	ビエント高崎	7組
19	6月1日(木)	説明会（高校）	佐野高校	18
20	6月2日(金)	説明会（高校）	栄北高校	34
21	6月5日(月)	説明会（高校）	白鷗大学足利高校	3
22	6月8日(木)	説明会（高校）	桐生高校	10
23	6月8日(木)	説明会（オンライン）	雄山高校	1
24	6月9日(金)	資料配布	中四国エリア合同資料頒布企画	—
25	6月12日(月)	説明会（オンライン）	埼玉栄高校	1
26	6月13日(火)	説明会（高校）	渋川女子高校	14
27	6月13日(火)	説明会（会場）	足利高校	18（他資料のみ5）
28	6月15日(木)	説明会（高校）	深谷第一高校	31
29	6月17日(土)	資料配布	アクトシティ浜松	—
30	6月18日(日)	説明会（会場）	サンシャインシティ文化会館ビル	22
31	6月18日(日)	説明会（会場）	アイメッセ山梨	8
32	6月20日(火)	説明会（オンライン）	沼津市立沼津高校	7
33	6月30日(金)	説明会（会場）	ティアラグリーンパレス	15
34	7月3日(月)	説明会（会場）	前橋東高校	35
35	7月6日(木)	説明会（会場）	ビエント高崎	31
36	7月9日(日)	資料配布	ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター	—
37	7月7日(金)	説明会（会場）	太田女子高校	3
38	7月10日(月)	説明会（会場）	前橋育英高校	15
39	7月11日(火)	説明会（会場）	高崎経済大学附属高校	24（他資料のみ3）
40	7月19日(水)	説明会（高校）	桜丘高校	10(内教員3)

No.	実施日	内容	高校・会場	ブース来場者数等
41	7月19日(水)	説明会（オンライン）	豊島高校	5
42	7月20日(木)	説明会（高校）	前橋西高校	1
43	7月21日(金)	説明会（オンライン）	福島成蹊高校	8
44	8月5日(土)	説明会（オンライン）	昭和高校	26
45	8月8日(火)	説明会（オンライン）	2023年度夏の地方国公立大学合同説明会	26（教員）
46	9月15日(金)	説明会（高校）	佐野東高校	5
47	9月26日(火)	資料配布	駿台甲府高校（通信課程）	—
48	9月27日(水)	説明会（高校）	東京農業大学第二高校	15（他資料のみ2）
49	10月4日(水)	資料配布	鶴岡東高校	—
50	10月7日(土)	資料配布	東京学館浦安高校	—
51	10月11日(水)	説明会（オンライン）	新潟県立長岡大手高校	1
52	10月12日(木)	資料配布	静岡市立清水桜が丘高校	—
53	10月15日(日)	資料配布	サンシャインシティ	—
54	10月16日(月)	説明会（会場）	ピエント高崎	22（内教員1）
55	10月25日(水)	資料配布	矢板中央高校	—
56	10月26日(木)	資料配布	沼田女子高校	—
57	10月28日(土)	資料配布	共栄学園高校	—
58	11月6日(月)	資料配布	鹿沼東高校	—
59	11月9日(木)	資料配布	岩瀬日本大学高校	—
60	11月9日(木)	説明会（高校）	前橋育英高校	34
61	11月18日(土)	資料配布	東京学館浦安高校	—
62	11月22日(水)	説明会（オンライン）	駿台学園高校	3
63	11月24日(金)	説明会（オンライン）	長野東高校	6
64	11月29日(水)	説明会（高校）	桐生第一高校	9
65	12月13日(水)	説明会（高校）	佐野日大高校	19
66	12月22日(金)	説明会（オンライン）	沼津高校	9
67	3月13日(水)	説明会（会場）	前橋市民文化会館	8（内教員1）
68	3月18日(月)	説明会（会場）	Gメッセ（第一学院高等学校）	18（内教員1）
69	3月18日(月)	説明会（会場）	Gメッセ	1

※ブース来場者には保護者を含む。

1 令和5年度 キャンパスソーシャルワーカー対応状況

実人数＝18人

対応数（保健室での通常相談件数除く）				対応内容								
年	四半期	月日	関係者分類	来室	訪問	架電	入電	送信	受信	総計		
2023年	第 2 四半期	4月	本人	7			5	1	3	1	17	
			保護者	2			5	1			8	
			教員	5	1				5	6	17	
			関係機関	1	2	4	3	2	1	13		
		4月 集計			15	3	14	5	10	8	55	
		5月	本人	8	1	11	1				21	
			保護者	4			5	2			11	
			教員	3					20	16	39	
			関係機関	3			2	1	4	4	14	
		5月 集計			18	1	18	4	24	20	85	
		6月	本人	5	1	9			3		18	
			保護者	4			3	3	2	2	14	
			教員	5				1	23	19	48	
			関係機関	7			3	2	9	10	31	
		6月 集計			21	1	15	6	37	31	111	
		第 3 四半期	7月	本人	12	2	3			10	4	31
				保護者	2			4	1	3	4	14
				教員	2				1	27	27	57
	関係機関			2	1	8	2	7	7	27		
	7月 集計			18	3	15	4	47	42	129		
	8月		本人	3			4		2	2	11	
			保護者				4	1			5	
			教員	4	1				8	7	20	
			関係機関				1			3	4	
	8月 集計			7	1	9	1	10	12	40		
	9月		本人	6			4	1	3	4	18	
			保護者	1			6	2	1	1	11	
			教員	1				2	6	5	14	
			関係機関	1			1		1		3	
	9月 集計			9		11	5	11	10	46		
	第 4 四半期		10月	本人	7			3		4	2	16
				保護者					1	2	1	4
				教員	3				1	12	16	32
		関係機関		1							1	
		10月 集計			11		3	2	18	19	53	
		11月	本人	9			3	1	6	4	23	
			保護者	1			3		1	1	6	
			教員	6					22	14	42	
			関係機関	2			4		8	9	23	
		11月 集計			18		10	1	37	28	94	
		12月	本人	6			1		3	2	12	
			保護者					1	1	1	3	

2023年	第 4 四半期	12月	教員	1		6	4	11			
			関係機関	1	2	1	1	5			
		12月 集計			8	2	2	1	11	7	31
2024年	第 1 四半期	1月	本人	6		2	2		10		
			保護者			4	1	1	1	7	
			教員	3		3	1	9	7	23	
			関係機関	2				1	1	4	
		1月 集計			11		9	4	11	9	44
		2月	本人	6		4	2	3	1	16	
			保護者	1		3	3			7	
			教員	3		1		10	8	22	
			関係機関						1	1	
		2月 集計			10		8	5	13	10	46
		3月	本人	13		3	2	3	3	24	
			保護者			2	4		1	7	
			教員	2			1	11	7	21	
			関係機関	2		2	1	4	1	10	
		3月 集計			17		7	8	18	12	62
総計				163	11	121	46	247	208	796	

※ 教員・保護者・関係機関は、1面談につき複数人いても、「1」とカウントしています。☒

※ 同一日に、同一人物と送受したメールは、何回有っても、送「1」、受「1」とカウントしています。

2 令和5年度 看護師対応状況

令和5年度 看護師対応状況													
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R5年	23	29	25	40	12	22	15	20	13	10	7	6	222